

付属資料

1. 調査票
2. 付属統計表

1. 調査票

フリースクール・サポート校等における進路指導・キャリアガイダンスに関する調査

この調査は、全国の義務教育課程修了者（高等学校在籍者を含む）に相当する生徒を対象とするフリースクール（フリースペース等を含む）、サポート校等の教員・スタッフや支援担当者を対象として、各施設での進路指導やキャリア支援の実態についてお聞きすることを目的としています。回答にあたっては、ご担当者の個人的なお考えでお答えいただいて構いません。回答内容はすべて統計的に処理され、個別の回答が外部に出ることは決してありません。

お忙しい折とは存じますが、何卒ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2018年4月

ご回答は、本調査票へ直接書き込んでいただき、同封の返信用封筒でお送りください。

◇調査企画者：独立行政法人 労働政策研究・研修機構 キャリア支援部門（担当：**）

◇調査委託機関（問い合わせ先）：株式会社***

TEL:*** FAX:***

A. 貴施設・団体について：以下にご回答ください

A1. 【運営主体】貴施設の運営主体として、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 個人 | 5. 社会福祉法人、医療法人 |
| 2. 特定非営利活動法人（NPO 法人） | 6. （法人格を有しない）任意団体 |
| 3. 有限会社・株式会社等の法人 | 7. 行政・公的機関 |
| 4. 学校法人 | 8. その他（ ） |

A2. 【活動・名称】貴施設の活動や名称で、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. フリースクール | 5. 塾・予備校 |
| 2. フリースペース | 6. サポート校 |
| 3. 居場所 | 7. その他（具体的に： ） |
| 4. オルタナティブスクール | |

A3. 【その他の活動】A2でお答えになった活動以外で、貴施設が行っている活動全てに○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. フリースクール | 7. 親の会 |
| 2. フリースペース | 8. 家庭教育支援 |
| 3. 居場所 | 9. 学童保育 |
| 4. オルタナティブスクール | 10. その他の子ども・若者支援の活動 |
| 5. 塾・予備校 | 11. その他（ ） |
| 6. サポート校 | 12. 特になし |

A4. 【活動形態】貴施設の活動形態について最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 通所型のみ | 3. 通所型と宿泊型（寮）の両方 |
| 2. 宿泊型（全寮制）のみ | |

A5. 【場所】貴施設がサービスや教育を提供している主な場所はどこですか。
（都道府県名・1つのみ）

都道
府県

A6. 【開始年】現在行っているサービスや教育の提供を開始した年はいつですか。

年

（注）現地域でサービスを開始する以前に、同一内容のサービスを別の地域で提供してきた場合は、別地域で

サービス提供を始めた年をお答えください。貴施設の設定年とは必ずしも一致しない場合もあります。

A7. 【入会金】貴施設に生徒が通う場合の入会金について、あてはまるもの1つに○をつけてください。
(注) 入会金とは、ここでは「生徒が入学時に一度だけ支払うもの」と定義します

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 入会金はない | 5. 3万円～5万円未満 |
| 2. ～5,000円未満 | 6. 5万円～10万円未満 |
| 3. 5,000円～1万円未満 | 7. 10万円以上 |
| 4. 1万円～3万円未満 | |

A8. 【月額会費】貴施設の月額会費(月謝)について、生徒一人あたりの平均的な金額を1つご回答ください。

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 月謝・会費等はない(無料) | 5. 3万円～5万円未満 |
| 2. ～5,000円未満 | 6. 5万円～10万円未満 |
| 3. 5,000円～1万円未満 | 7. 10万円以上 |
| 4. 1万円～3万円未満 | |

A9. 【減免制度の有無】家庭の経済的事情による会費等の減免制度はありますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

A10. 【経済的理由の退会者有無】過去5年以内に、経済的な理由で退会した子ども・若者はいましたか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

A11. 【財政上の支援】これまでに、(特定の事業に対する支援ではなく) 団体運営に関して外部から何らかの財政上の支援はありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 財団法人による支援 | 4. 個人による支援 |
| 2. 民間企業による支援 | 5. 業界団体、協会等からの支援 |
| 3. 行政による支援 | 6. その他からの支援 () |

A12. 【財政規模】貴施設の1年間の財政規模(昨年度実績・概算)について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. ～50万円未満 | 5. 500万円～1,000万円未満 |
| 2. 50万円～100万円未満 | 6. 1,000万円～2,000万円未満 |
| 3. 100万円～250万円未満 | 7. 2,000万円以上 |
| 4. 250万円～500万円未満 | 8. わからない |

B. 対象者・活動状況について：以下にご回答ください

B1. 【対象者の年齢】貴施設の活動が対象としている子ども・若者の年齢は何歳ですか。1と2のどちらかに○をつけてください。2の場合は、具体的な年齢または下限・上限が無いかどうかもお答えください。

- | |
|------------------------------------------------------|
| 1. 下限・上限とも年齢制限はない |
| 2. 下限 (____ 歳から・下限は設けていない)、上限 (____ 歳まで・上限は設けていない) |

B2. 【対象者の年代別男女別人数】現在所属（登録）している子ども・若者について、2018年3月1日時点での人数をお答えください。また、ふだん1日（あるいは開室1回）あたり、平均して何人程度の子ども・若者が利用していますか。

学年	所属（登録）人数		1日平均来室人数（概算）	
	男性（人）	女性（人）	男性（人）	女性（人）
小学校入学未満				
小学生				
中学生				
中学卒業以上（15～19歳）				
中学卒業以上（20歳以上）				

B2-1. 【制服の有無】「中学卒業以上で15～19歳」の子ども・若者が所属・利用している施設・団体にお尋ねします。日常的に通ってくる中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者の服装で、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 生徒はほぼ全員、制服を着用している | 3. 制服を着用する生徒はほぼいない |
| 2. 制服を着用する生徒が一定人数いる | |

B3. 【年間利用者数】1年間の平均利用者数（のべ人数）を過去2～3年間の平均的な数値でお答えください。

年間	うち 中学卒業以上（15～19歳）は
およそ 人	約 人

以下のB4～B9は、上記B2で「中学卒業以上（15～19歳）」の生徒が所属・利用している施設・団体のみご回答ください。そのような生徒が所属・利用していない施設・団体の場合は、B10へお進みください。

B4. 【週あたり開室日数】中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者の活動を目的とした開室は、1週間あたり平均して何日間ありますか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

（注）保護者やスタッフのための時間（保護者会、スタッフミーティング等）は除きます。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------------|
| 0. 1日未満 | 2. 2日程度 | 4. 4日程度 | 6. 6日程度 |
| 1. 1日程度 | 3. 3日程度 | 5. 5日程度 | 7. 7日程度（ほぼ毎日） |

B5. 【活動日】中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者が活動する日について、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 基本的に平日（月～金）のみ活動する | 3. 土日中心でたまに平日にも活動する |
| 2. 平日中心で、たまに土日にも活動する | 4. 基本的に土日のみ活動する |

B6. 【通所・帰宅時間】中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者が通ってくる時間、帰る時間は決まっていますか。どちらか1つに○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. 通所・帰宅時間はほぼ規定されている（ほぼ決まっている） |
| 2. 開室時間内であればいつでも通所・帰宅してよい |

B7. 【通学手段】貴施設に通う中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者の主な通学手段は何ですか。あてはまるものを2つまで○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 電車・バス等の公共交通機関 | 5. 家の人に送ってもらう（車など） |
| 2. 自転車 | 6. 貴施設の送迎車を（最寄駅等から）利用する |
| 3. バイク | 7. その他 |
| 4. 徒歩 | |

B8. 【通学時間】貴施設に通う中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者の片道の通学時間は、平均的にどのくらいの人が多いですか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 30分未満	3. 1時間～2時間未満
2. 30分～1時間未満	4. 2時間以上

B9. 【平均在籍期間】この1年間に退会した中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者の在籍期間（貴施設の利用期間）は、平均するとどのくらいですか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 6ヶ月未満	4. 2年以上3年未満
2. 6ヶ月以上1年未満	5. 3年以上5年未満
3. 1年以上2年未満	6. 5年以上

以下の設問からは、全員ご回答ください。

B10. 【障がい者受け入れ状況】障がいを持っているとされている子ども・若者を受け入れていますか。

1. はい	2. いいえ（→C1へお進みください）
-------	---------------------

B10-1. 【障がい名・診断名】障がいを持っているとされる子ども・若者を受け入れている貴施設において、通っている子ども・若者の障がい名や診断名について、あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. アスペルガー症候群	8. 言語障害
2. 自閉スペクトラム障害（ASD） （アスペルガー症候群を除く）	9. 視覚障害
3. 学習障害（LD）	10. 聴覚障害
4. 注意欠陥・多動性障害（ADHD）	11. 脳性まひ
5. その他の発達障害	12. 身体障害
6. 知的障害	13. 性同一性障害
7. 精神障害	14. 難病
	15. その他

B10-2. 【障がい者受入数】障がいを持っているとされている子ども・若者を、貴施設では現在およそ何名受け入れていますか。

およそ	人
-----	---

C. 具体的な活動内容と指導について：以下にご回答ください

C1. 【活動内容】貴施設では以下の活動・行事・プログラムを行っていますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 個別の学習	10. 学業成果、演奏や作品などの発表会
2. 集団型の授業形式（講義形式）による学習	11. 相談・カウンセリング（進路指導含む）
3. 社会体験（見学、職場体験など）	12. 家庭訪問
4. 自然体験（自然観察、農業体験など）	13. 入学式
5. 調理体験（昼食づくりなど）	14. 卒業式
6. 芸術活動（音楽、美術、工芸など）	15. 長期休暇（生徒が貴施設に通わない期間が3週間程度以上に及ぶ休暇。夏休み・春休みなど）
7. スポーツ体験	16. その他（ ）
8. 宿泊体験	
9. 子ども・若者たちによるミーティング	

C2. 【主な活動場所】貴施設の主な活動場所について、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 固定した常設スペースを持っている

なければ 15 に○をつけてください。

1. 本人に連絡をとる	9. 保護者の了解を得た上で、医療機関・保健所等と連絡をとる
2. 保護者に連絡をとる	10. その他の外部機関と連絡をとる
3. 子ども同士（クラスメイト）で連絡させる	11. スタッフ間で情報共有を行う
4. 家庭訪問を行う	12. 対応に関する勉強会をスタッフで実施している
5. 本人に進路変更の意向を聞く	13. スタッフ向けの対応マニュアルを整備している
6. 保護者と進路変更について相談する	14. その他（ ）
7. 退会について相談する	15. 特別な働きかけや取り組みは行っていない
8. 貴施設の休学制度の活用について相談する	

C9. 【生徒の課題への対応状況】中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者の抱える多様で複合的な課題に対応して、貴施設では十分に対応できていると考えていますか。○を1つつけてください。

1. 十分に対応できている	3. あまり対応できていない
2. ある程度対応できている	4. 全く対応できていない

C10. 【規則違反への対応】中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者が活動のルールに反したときの特別な対応はありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。なければ「8」に○をつけてください。

1. 当番などの罰則	5. 自宅謹慎
2. 訓戒・説教	6. 退会
3. 反省文	7. その他（ ）
4. 子ども・若者たちのミーティングで議論	8. 特別な対応は一切ない

C11. 【退会後の進路】中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者が貴施設を途中退会した場合、どのような道に進む場合が多いですか。主なものを3つまで○をつけてください。全くわからない場合は13に○をつけてください。

1. 上級学校への進学・受験やその準備	8. 得意な領域を極めるための活動・勉強に専念
2. 元の学校へ戻る	9. 海外留学
3. 他の（正規の）学校へ転・編入	10. 資格取得（学校通学を含む）
4. 他のフリースクールへ転校	11. 通学も就職もせずに自宅にいる
5. 就職（正社員）	12. その他（ ）
6. 就職（アルバイト・派遣等）	13. 退会後の動向はスタッフには全くわからない
7. ボランティアの仕事に従事	

D. 保護者・卒業生の状況について：以下にご回答ください

以下のD1～D5は、上記B2で「中学卒業以上（15～19歳）」の生徒が所属・利用している施設・団体のみご回答ください。そのような生徒が所属・利用していない施設・団体の場合は、E1へお進みください。

D1. 【保護者の悩み】貴施設に通っている中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者のことで、保護者が現在悩んでいるのはどんなことだと思われますか。主なものを3つまで○をつけてください。回答できない場合は15または16に1つ○をつけてください。

1. 進学のこと	10. 我が子がひきこもりにならないかどうか
2. 基礎学力のこと	11. 我が子が精神的に不安定にならないかどうか
3. 将来就く仕事のこと	12. 我が子のその他の性格、行動、態度
4. 将来自立できるかどうか	13. 元の学校のこと
5. 貴施設での人間関係	14. 家庭の経済的事情
6. 貴施設での活動について	15. 回答できない（保護者は子どものことで

7. 貴施設以外での友人関係や人間関係	悩んでいないため)
8. 家族との関係	16. 回答できない(保護者の考えはスタッフには
9. 我が子の社会性が身につくかどうか	わからないため)

D2. 【保護者が考える生徒の今後】中学卒業以上(15~19歳)の子ども・若者の今後(1~2年以内の近い将来)について、保護者はどのように考えていますか。主なものを3つまで○をつけてください。回答できない場合は14に1つ○をつけてください。

1. 次の学期・学年からは元の学校に戻ってほしい	8. 早く就職してほしい
2. 元の学校にできるだけ早く戻ってほしい	9. アルバイトなどをしてほしい
3. フリースクールではなく、どこでもいいので 正規の学校に通ってほしい	10. 経済的に自立してほしい
4. フリースクールに通って成長してほしい	11. 我が子の好きなように自由に生きてほしい
5. 学校に行かなくても勉強だけはしてほしい	12. 自分の好きなことを探してほしい
6. 進学してほしい	13. その他()
7. 将来のために資格をとってほしい	14. 保護者の考えはスタッフにはわからない

D3. 【卒業生への追跡調査等】中学卒業以上(15~19歳)の生徒が卒業した後、進学先や就職先における適応状態等について、追跡調査等を行っていますか。あてはまるものを1つに○をつけてください。

1. 定期的を実施している	3. 実施していないが、今後実施してみたい
2. とくとき実施している	4. 実施していないし、今後実施する予定はない

D4. 【卒業生への支援状況】中学卒業以上(15~19歳)の生徒が卒業・修了した後、卒業生に対する支援があればあてはまるものを全て選び○をつけてください。今まで支援した実績がなくても、卒業生が今後貴施設に戻ってきた時に受けられる予定の支援内容を回答しても構いません。

1. 修学上の相談(学習相談)を受け付けている	8. 仕事上や職探しの悩みの相談を受け付けている
2. 進学に関する相談を受け付けている	9. 外部の人と直接引き合わせる(情報提供だけでなく)
3. 生活上の悩みや相談を受け付けている	10. その他()
4. 書類などで一般的な情報提供を行う	11. 支援実績はないが、要望があれば適宜対応する
5. 推薦書などの特別な書類を作成する	12. 支援実績はないし、今後対応する予定はない
6. ボランティアの仕事を紹介している	7. 有給の仕事(アルバイト等)を紹介する

D5. 【卒業生への社会の期待】今後貴施設の卒業生を広く受け入れてゆく社会では、卒業生のどんな部分に期待しているとお考えですか。以下から主にあてはまるものを3つまで選び○をつけてください。

1. 良いマナーやモラルがあること	8. 勉強・学習への取組姿勢がよいこと
2. しっかりとした職業観・勤労観があること	9. 課外活動への取組姿勢がよいこと
3. その業界や企業をよく理解していること	10. 資格取得への取組姿勢がよいこと
4. 適切な自己理解がなされていること	11. 基礎的な学力があること
5. 何事にも意欲的であること	12. その他()
6. 仕事への取組姿勢がよいこと	13. 特にない
7. コミュニケーションの基本スキルがあること	

E6. 【主な職歴】あなたは、貴施設のスタッフになる前に、主にどのような職歴や経験をお持ちでしたか。該当するもの全てに○をつけてください。主な職歴がない場合は21か22のどちらかに○をしてください。

1. 人事課・人事部等の経験	12. 教員（大学・短大・専門学校）※非常勤含む
2. 営業・販売等の経験	13. 保育士、幼稚園教諭
3. 事務の経験	14. 臨床心理士、精神保健福祉士
4. その他一般企業での勤務経験	15. 社会福祉士
5. 管理職（主任・課長級以上）経験	16. 介護福祉士
6. 役員の経験	17. 各種カウンセラー（有資格者）
7. 公務員（正職員）	18. 塾講師
8. NPO・市民団体職員	19. その他（ ）
9. 他のフリースクールスタッフ	20. 自営業
10. 教員（小学校）※非常勤含む	21. 主な職歴はない（現職が初めての就職）
11. 教員（中学・高校）※非常勤含む	22. 主な（長く勤務した）職歴はない（主婦・主夫等）

E7. 【現在の仕事内容】あなたは現在スタッフとしてどのような仕事を担当していますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 見学时・入学時対応	11. 財務、経理
2. 授業や講座の講師	12. 行政、学校、財団、企業などとの折衝や渉外
3. 個別学習指導	13. 車で子ども・若者の送迎
4. 生徒の日常生活や学習上の悩み相談	14. 広報・啓蒙活動
5. 生徒の将来の悩みや卒業後の方向付け等の進路相談	15. スタッフ向けの勉強会
6. カウンセリング	16. 保護者会への参加・運営
7. スポーツ・料理などの活動	17. 保護者との面談
8. 行事・イベントの企画・引率	18. 家庭訪問
9. 清掃や片付け、洗濯	18. 他団体との活動、交流
10. 一般事務・庶務	19. 教材研究
	20. その他（ ）

E8. 【呼称】あなたは子ども・若者から主にどのように呼ばれていますか。1つだけ○をつけてください。

1. 「先生」「○○（名字）先生」	4. 名前では呼ばれていない（「ねえ・・・」、
2. 名字または下の名前に「さん」をつけて	「あの・・・」などと呼ばけられる）
3. ニックネーム（「ちゃん」づけ、呼び捨て含む）	5. その他（ ）

E9. 【利用者との関係】スタッフとしてのあなたと、入室する子ども・若者との関係は次のどれにあたりますか。もっとも近いものに1つだけ○をつけてください。

1. 子ども・若者とスタッフで一緒に話し合い、両者で物事を決めている
2. 子ども・若者が決定し、スタッフはそれに協力するやり方が基本となっている
3. スタッフがおおむね決定し、子ども・若者に指示するやり方が基本となっている

E10. 【悩み・困り事】 スタッフとして現在困っていることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 子ども・若者との関係について	11. やりがいを感じない
2. 対応が難しい子ども・若者について	12. やることが多い
3. 子ども・若者の意欲的な参画がうまくいかない	13. 長時間労働
4. スタッフとして何をしたらよいかかわからない	14. 職場が遠い
5. 保護者への対応の仕方	15. 必要な経費が出ない
6. 上司・施設長との関係	16. 待遇・給与
7. スタッフ間の人間関係	17. 団体の財政
8. スタッフ間で子ども観・教育観等に違いがあること	18. 学校・地域・行政との関係について
9. 悩みを相談できる人がいない	19. その他 ()
10. 将来が不安	20. 特にない

E11. 【学校、入試、学歴等に関する考え方】 以下に示す「考え方」に対して、あなたは個人的にどのように考えますか。下記の(a)～(o)について、①～④のうち最もあてはまるところに○をつけてください。

<A>子ども・若者と学校との関係	①重視している	②やや重視している	③あまり重視していない	④重視していない
(a) 子ども・若者は学校復帰を目標にすべきだ	1	2	3	4
(b) 子ども・若者は学校に行けるのなら行くべきだ	1	2	3	4
(c) 学校へ行くか行かないかは子ども・若者の意思を尊重すべきだ	1	2	3	4
(d) 子ども・若者は基礎的な学力を身につけるべきだ	1	2	3	4
学歴および学校歴に対する考え方	①そう思う	②どちらかといえばそう思う	③どちらかといえばそう思わない	④そう思わない
(e) 現在の日本の社会は学歴社会だ	1	2	3	4
(f) 日本の社会は、学校歴(=どこの大学・短大を卒業したか) 社会である	1	2	3	4
(g) 大学への進学率の高い学校が、すなわち「良い」学校である	1	2	3	4
(h) 偏差値の高い有名大学に進学することが、生徒の将来における職業生活、社会生活を有利に導く	1	2	3	4
<C>大学・短大・専門学校の入試制度について	①賛成	②どちらかといえば賛成	③どちらかといえば反対	④反対
(i) 入学は易しく、卒業は難しいという入試方法・大学の制度	1	2	3	4
(j) 大学入試制度そのものの多様化	1	2	3	4
(k) 入学試験の際の面接の実施	1	2	3	4
(l) 入学試験の際の論述式試験(論文試験)の実施	1	2	3	4
(m) 推薦入学制度の拡充	1	2	3	4
(n) 試験科目数の削減	1	2	3	4
(o) 一芸に秀でた生徒を選抜するという入試方法の推進	1	2	3	4

F. 貴施設における個別相談全般について：以下にご回答ください

F1. 【増えている相談内容】貴施設で、中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者やその保護者から受ける相談内容について、最近増えている（目につくと感じる）相談について、あてはまるものを2つまで○をつけてください。該当年代の生徒がいない場合や相談がない場合は18に○をつけてください。

1. 対人関係（家族）	10. 発達障害（自閉スペクトラム障害、ADHD、LD、アスペルガー症候群等）
2. 対人関係（同年代の友人等）	11. 体型（肥満、やせ等）
3. 対人関係（異性）、恋愛	12. 体力、体調
4. 精神障害（うつ、不安障害、統合失調症等）	13. ハラスメント、人権侵害
5. 性格、考え方、態度（アイデンティティ、セルフコントロール等）	14. 悪徳商法、法律相談
6. 基礎学力	15. 知的障害
7. 将来の進学等に必要の学力	16. 身体障害
8. 進路（進学先・就職先について）	17. その他（ ）
9. 家庭の経済的問題	18. 該当年代の生徒がいない・相談がない

F2. 【相談に関する施設内での連携状況】子ども・若者や保護者から個別相談を受けた場合、相談内容について、貴施設ではどのように情報共有を図っていますか。あてはまるものを全て選んで○をつけてください。

1. 貴施設内の定期的な連絡会議で情報共有を行う
2. 貴施設内で、必要に応じて連絡会議を開き、情報共有を行う
3. 貴施設の本部へ定期的に連絡して情報共有を行う
4. 相談を担当したスタッフのみが把握し、特に情報共有は行わない
5. その他（ ）

F3. 【相談に関する今後の課題】個別相談に関する今後の課題として、特に必要性が高いと思われる事項すべてに○をつけてください。その中で、今後取り組みを充実させるためには、貴施設単独では実施困難と思われる事項があれば3つまで回答してください。

1. 悩みを抱えていながら相談に乗ってこない生徒への対応	9. 相談対応スタッフの待遇の改善
2. 生徒への予防教育的活動	10. 相談対応スタッフと他スタッフとの連携・協働
3. 保護者への対応	11. 相談対応スタッフに対する研修
4. 複雑かつ多様な相談内容への対応	12. 相談体制の環境整備
5. 精神的危機の状況にある生徒への対応	13. 相談対応のためのマニュアル作成
6. 相談対応可能なスタッフの増員	14. 貴施設外の専門機関（医療機関・各種相談機関）との連携
7. 相談対応スタッフの専門性向上	15. 他団体での先進的取組等の情報収集
8. 相談対応スタッフの専任化	16. その他（ ）

◆この中で、貴施設単独では実施困難と思われる事項（3つまで）・ ・ ・ ・ ・

以下のG1～G2、H1～H9、I1～I7、J1～J6は、上記B2で「**中学卒業以上（15～19歳）**」の生徒が所属・利用している施設・団体のみご回答ください。そのような生徒が所属・利用していない施設・団体の場合は、最後の設問Kへお進みください。

G. 外部機関との連携について：以下にご回答ください

G1. 【連携先】子ども・若者への支援（進路相談・指導、生活相談・指導など全般）において、以下のような外部機関等と連携していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。連携していない場合は15に○をつけていただき、G2にお進みください。

1. 卒業生・修了生個人	8. 地元の商工会議所・経営者協会等の経済団体
2. NPO・ボランティア団体	9. 医療機関
3. 他のフリースクール等の団体	10. 発達障害者支援センター
4. 資格取得のための学校	11. 警察署
5. 民間の就職支援企業、業者	12. 弁護士
6. 市区町村（自治体）	13. 消費者センター
7. 公的な就職支援機関（ハローワーク、サポステ ジョブカフェ等）	14. その他（ <input type="text"/> ）
	15. 連携は行っていない（→G2へお進みください）

G1-1. 【連携の効果】G1で14以外に回答した場合にお尋ねします。外部機関等との連携による効果・成果について、全般的にどうお考えですか。あてはまるものに○を1つつけてください。

1. 効果・成果がよく出ている	4. 効果・成果が全く出していない
2. 効果・成果が少し出ている	5. 効果・成果が出ているかどうかわからない
3. 効果・成果があまり出していない	

G1-2. 【連携の効果（具体名）】G1で14以外に回答した場合にお尋ねします。連携の効果とは具体的にどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 子ども・若者への良い刺激、指導	6. ノウハウの獲得や蓄積
2. 貴施設のカリキュラムやプログラムの充実	7. 人的ネットワークの拡大
3. 貴施設の人的負担の軽減	8. 情報収集や活用
4. 貴施設の費用負担の軽減	9. その他（ <input type="text"/> ）
5. スタッフの教育・研修	

G2. 【今後の連携について】外部機関との今後の連携のあり方について、どのようにお考えですか。あてはまるものに○を1つつけてください。

1. さらに連携を強めてゆきたい	5. 今は連携していないが、今後は連携を考えた
2. 現状程度で連携してゆきたい	6. 今も今後も連携は考えていない
3. 一部の連携については見直すが、今後も連携は続けてゆきたい	7. その他
4. 連携を全般的に縮小・削減してゆきたい	

H. 進路指導、進路相談について：以下にご回答ください

H1. 【進路相談、情報提供や指導の実際】中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者を対象とした進路相談、進路に関する情報提供や指導で、現在、貴施設で実施しているものがあればいくつでも○をつけてください。何も実施していない場合は18に○をつけてください。

1. 生徒に対する個別の進路希望調査	12. 職業適性検査、職業興味検査、進路発達検査等の自己理解のための検査の実施
2. 進路に関する三者面談（スタッフ、生徒、保護者）	13. 大学等受験のための模擬試験（個別対応含む）
3. 進路に関する二者面談（スタッフ、生徒）	14. 就職のための模擬試験（公務員試験対策等。個別対応含む）
4. ハローワーク職員等による個別相談	15. 大学等受験のための対策講座（面接指導、小論文の書き方など。個別対応含む）
5. 外部（企業、学校等）による説明会や情報提供	16. 就職のための対策講座（面接指導、応募書類の書き方など。個別対応含む）
6. ハローワーク職員による説明会や情報提供	17. その他（ <input type="text"/> ）
7. 卒業生による進学先・就職先の体験談や情報提供	18. 進路指導・相談・情報提供は一切行っていない
8. 進路に関する資料コーナー等の設置	
9. 職場（職業）体験学習	
10. ボランティア体験学習	
11. 保護者、卒業生による就職先のあつせん	

H2. 【進路選択で目的意識を持たせる指導（貴施設）】中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者に対して、進路選択（進学・就職）に目的意識を持たせるような指導は、貴施設全体でどの程度推進されていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 十分に推進されている | 3. あまり推進されていない |
| 2. ある程度は推進されている | 4. 推進されていない |

H3. 【進路選択で目的意識を持たせる指導（ご回答者）】現在ご回答中のスタッフご自身は、中学卒業以上（15～19歳）の生徒に対して進路選択（進学・就職）に目的意識を持たせるような指導ができていると考えていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 十分に指導できている | 3. あまり指導できていない |
| 2. ある程度は指導できている | 4. 指導できていない |

H4. 【生徒が進路決定で重視する意見】中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者が自らの進路を最終的に決定するとき、誰の意見を、どの程度考えて決めていると思いますか。各対象者で重視していると思われる程度について、それぞれ○を1つつけてください。

対象者	①重視している	②やや重視している	③あまり重視していない	④重視していない
(a)本人の希望	1	2	3	4
(b)スタッフの意見	1	2	3	4
(c)貴施設の施設長の意見	1	2	3	4
(d)保護者の意見	1	2	3	4
(e)他の予備校や塾の担当者の意見	1	2	3	4
(f)ハローワーク職員の意見	1	2	3	4
(g)友人や先輩の意見	1	2	3	4
(h)その他（ご自由にお書きください）				

H5. 【生徒の課題や問題点への意見】下記は、進路決定に関して一般的に生徒が持ちやすい課題や問題点を示したものです。現在ご回答中のスタッフご自身の考えについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

進路決定に関する生徒の課題や問題点	①あてはまる	②ややあてはまる	③あまりあてはまらない	④あてはまらない
(a)進路意識や意欲の低下（生徒自身が自分の進路について十分に調べたり、考えたりしていない）	1	2	3	4
(b)学力や能力との乖離（学力、成績、能力などを考慮せずに、進路を決めている）	1	2	3	4
(c)情報や条件の偏り（進路について十分調べていなかったり偏った情報に基づいて進路を選んでいる）	1	2	3	4
(d)保護者からの影響（保護者の意見に従って決めており、進路を自分で決めていない）	1	2	3	4
(e)合格可能性のみで決定（興味や性格と関係なく、合格できそうなところから進路を選んでいる）	1	2	3	4
(f)生徒とスタッフのコミュニケーション不足（生徒とスタッフが進路に関して話をする時間が十分にとれていない）	1	2	3	4
(g)その他（ご自由にお書きください）				

H9. 【進路相談や指導への悩み】中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者への進路相談や進路指導（生徒の将来を考えさせる指導）について、日頃、困っていることはありますか。ご自由にお書きください。

--

I. 進路指導・相談における「適性」の把握について：以下にご回答ください

I1. 【適性の概念】「適性」には、どのようなものが含まれると考えていますか。以下の10項目それぞれについて、下の4つの基準のうち、最も適当と思われるものを1つ選んでください。

適性の概念	①含まれる	②やや含まれる	③あまり含まれない	④全く含まれない
(a) 学力	1	2	3	4
(b) 得意教科科目	1	2	3	4
(c) 知能（潜在的可能性）	1	2	3	4
(d) 性格	1	2	3	4
(e) 興味（一般興味・関心）	1	2	3	4
(f) 職業興味	1	2	3	4
(g) 価値観	1	2	3	4
(h) 意欲	1	2	3	4
(i) 態度	1	2	3	4
(j) 体力	1	2	3	4

I2. 【適性把握の方法】中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者の進路を考える上で、本人の適性（進路適性）を主にどのような方法で把握していますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 生徒との面接	4. 進路適性検査（性格検査、興味検査、能力検査など）やガイダンスツール
2. 調査（アンケート）	5. 特に把握するための方法をとっていない
3. スタッフによる生徒の観察	

I3. 【進路選択における適性の必要性】中学卒業以上（15～19歳）の生徒の進路を考える上で、その生徒の適性を重視することは必要だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. おおいに必要である	3. あまり必要ではない
2. ある程度必要である	4. 必要ではない

I4. 【自己理解の徹底】自分の適性をより良く生かすための自己理解の徹底に関して、どの程度子ども・若者に指導していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 十分に指導している	3. あまり指導していない
2. ある程度指導している	4. 全く指導していない

I5. 【適性を生かした進路指導】貴施設では、「生徒の適性を生かす適切な進路指導（生徒の将来を考えさせる指導）」が実践されていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 実践されている	3. どちらかといえば実践されていない
2. どちらかといえば実践されている	4. 実践されていない

I6. 【適性と乖離した志望をもつ生徒への対応】中学卒業以上（15～19歳）の生徒の志望とスタッフからみた生徒の適性が離れている場合、どのように指導しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 適性に沿った選択を行うよう強く説得する	3. 本人の志望に沿った選択を認める
2. 適性に沿った選択も考えるようアドバイスする	4. 特に指導しない

I 7. 【適性を生かすことが難しい理由】一般に、生徒の適性を生かすことが難しい場合、貴施設として、その理由は何であるとお考えですか。下記の(a)～(d)それぞれについて、①～④のうち最もあてはまるものに○を1つつけてください。その他の理由があれば、(e)にご記入ください。

主な理由	①そう思う	②やや含まれる	③あまり含まれない	④全く含まれない
(a) 適性というよりも学力で進路が左右されるのが現実だから	1	2	3	4
(b) 時間的にも物理的にも生徒一人一人の適性を十分把握できないから	1	2	3	4
(c) 適性そのものが何であるか捉えにくいから	1	2	3	4
(d) 適性をつかめたとしても、適性に応じてどう指導すればよいかわからないから	1	2	3	4
(e) その他（上記以外にあれば具体的に： _____）				

J. 適性検査・キャリアガイダンスツールの利用について：以下にご回答ください

J 1. 【適性検査・ツールの利用】貴施設・団体では、生徒に対する進路相談等のために、進路適性検査やガイダンスツールを利用していますか。以下のどちらかに○をつけてください。

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

◆J1. で「1. 利用している」に○をつけた方 →J2へお進みいただき、J2～J4をお答え下さい。
 ◆J1. で「2. 利用していない」に○をつけた方 →J5, J6へお進み下さい。

J 2. 【利用中のツール】J1で、適性検査やガイダンスツールを「1. 利用している」と回答した場合のみ、ご回答ください。下記のうち、進路相談等のために利用している検査やガイダンスツールがあれば、いくつでも○をつけてください。

1. 知能検査（WISC、WAIS など）	6. 職業興味検査
2. 性格検査（YG 性格検査など）	7. 総合的な進路適性検査（性格、興味、能力検査を含むもの）
3. クレペリン作業検査	8. カードタイプのツール
4. 厚生労働省編一般職業適性検査（GATB）	9. キャリア・インサイト
5. 職業レディネス・テスト（労働政策研究・研修機構編）	10. その他の検査・ツール（具体名： _____）

J 3. 【結果の活用度】適性検査やツールから得られた結果を、進路相談等で(A)どの程度利用していますか。また、総合的に見て、結果は、進路相談等において、(B)どの程度、役立てられていると思いますか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

(A)利用度	①おおいに利用している	②ある程度利用している	③あまり利用していない	④全く利用していない
(B)役立ち度	①役立てられている	②どちらかといえば役立てられている	③どちらかといえば役立てられていない	④役立てられていない

J4. 【検査・ツールのメリット】適性検査やガイダンスツールを利用するメリットは何ですか。(A) 生徒本人にとって、(B) スタッフにとって、という2つの立場に分けてお答えください。各項目で、あてはまるもの1つに○をつけてください。

立場	どのような点で有効か	①あてはまる	②ややあてはまる	③あまりあてはまらない	④あてはまらない
(A) 生徒本人にとっての有効性	(a) 生徒が進路の適性や将来の進路に関する可能性を考えたり、興味を持てること	1	2	3	4
	(b) 生徒が自己理解を深められること	1	2	3	4
	(c) 生徒が自主的に進路設計や進路選択を行うための資料となること	1	2	3	4
	(d) 生徒の進学や就職意識を高めること	1	2	3	4
	(e) 学力の要因は適性の一部の要因であることを生徒が理解できること	1	2	3	4
(B) スタッフにとっての有効性	(a) 生徒の進路適性の可能性や興味傾向が把握できること	1	2	3	4
	(b) 生徒本人が気づいていない能力や資質を掘り起こすこと	1	2	3	4
	(c) 生徒の進路設計への態度や価値観が把握できること	1	2	3	4
	(d) 生徒の諸特性を客観的に捉えることができること	1	2	3	4
	(e) スタッフが漠然と考えていることが明確になること	1	2	3	4

→ 回答が終わりましたら、最後の「設問K」へお進みください。

J5. 【利用しない理由】 J1で適性検査やガイダンスツールを「2. 利用していない」と回答した場合のみ、ご回答ください。貴施設で適性検査・ツールを利用していない理由をお知らせください。以下の各項目について、①～④のうち、ご回答者のお考えに最も近いもの1つに○をつけて下さい。

利用していない理由	①あてはまる	②ややあてはまる	③あまりあてはまらない	④あてはまらない
(a) 実施する時間がうまくとれないから	1	2	3	4
(b) 実施しようとしても貴施設全体での理解が得られないから	1	2	3	4
(c) 経費がかかるから	1	2	3	4
(d) スタッフの中で足並みをそろえるのが難しい（意見が分かれています）から	1	2	3	4
(e) 解釈が難しいから	1	2	3	4
(f) どのような適性がどのような進路に向いているかわからないから	1	2	3	4
(g) 適性検査の結果は一時的なもので参考にならないから	1	2	3	4
(h) 生徒自身の進路の明確な決定につながらないから	1	2	3	4
(i) 生徒は学力の要因に比べて適性の要因をあまり重視していないから	1	2	3	4
(j) 生徒自身が適性検査の結果に関心を示さないから	1	2	3	4
(k) 市販の適性検査はスタッフの観察等に比べて信頼できないから	1	2	3	4
(l) 信頼できる適性検査がいまだに開発されていないから	1	2	3	4
(m) 就職希望者がいないので実施の必要がないから	1	2	3	4

J6. 【検査・ツール導入の必要性】 J1で適性検査やガイダンスツールを「2. 利用していない」と回答した場合のみ、ご回答ください。ご回答者は、進路指導で、適性検査やガイダンスツールを導入することの必要性をどの程度感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. おおいに感じている | 3. あまり感じていない |
| 2. ある程度感じている | 4. 全く感じていない |

以下の設問は、全員ご回答ください。

K. 進路指導・進路相談の今後について：以下にご回答ください

◆最後に、中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者について、将来を考えるための（進路）指導や相談で、貴施設では今後どのような取組やお考えをお持ちですか。ご回答者のお考えをご自由にお書きください。

--

◆以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

アンケートの集計結果をご覧になりたい場合は、以下にご連絡先をご記入ください。集計結果がまとまり次第、ご連絡させていただきます。

なお、ご回答内容によっては、担当研究員が貴施設を訪問し、聞き取り調査をご依頼する場合があります。ご協力いただける場合は以下にご記入をお願いいたします。訪問の際には薄謝を進呈いたします。

貴施設・団体名：	ご所属先部署または職掌： ご回答者様のお名前：
TEL： （ ）	E-Mail：
ご住所： 〒	

2. 付属統計表

【注意事項】

- 本調査は設問によって、回答対象者数が異なる。
- 回答がないセルは「-」とした。
- 無回答数は欄外に記載した。
- 「SA」は単一回答、「MA」は複数回答を表す。
- 「MA」と表記した設問に関して、比率の合計は100%と一致しない。
- パーセンテージの表記は小数点以下第2位を四捨五入した値を示した。

A. 施設・団体について

A1.【運営主体】貴施設の運営主体として、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

(SA)

	1.個人	2.特定非営利 活動法人 (NPO法人)	3.有限会社・ 株式会社等の 法人	4.学校法人	5.社会福祉法 人、医療法人	6.(法人格を 有しない) 任意団体	7.行政・公的 機関	8.その他	合計
度数	11	47	24	4	3	10	-	21	120
割合 (%)	9.2	39.2	20.0	3.3	2.5	8.3	-	17.5	100.0

A2.【活動・名称】貴施設の活動や名称で、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

(SA)

	1.フリー スクール	2.フリー スペース	3.居場所	4.オルタナ ティブ スクール	5.塾・ 予備校	6.サポー ト校	7.その他	合計
度数	59	7	7	8	5	11	23	120
割合 (%)	49.2	5.8	5.8	6.7	4.2	9.2	19.2	100.0

A3.【その他の活動】A2でお答えになった活動以外で、貴施設が行っている活動全てに○をつけてください。(MA)

	1.フリース クール	2.フリース ペース	3.居場所	4.オルタナ ティブス クール	5.塾・予備 校	6.サポー ト校	7.親の会	8.家庭教育 支援	9.学童保育	10.その他の 子ども・若 者支援の活 動	11.その他	12.特になし
度数	16	24	32	8	20	29	56	22	4	47	26	4
割合 (%)	14.4	21.6	28.8	7.2	18.0	26.1	50.5	19.8	3.6	42.3	23.4	3.6

※無回答：9

A4.【活動形態】貴施設の活動形態について最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

(SA)

	1.通所型のみ	2.宿泊型(全寮制)のみ	3.通所型と宿泊型(寮)の両方	合計
度数	106	2	11	119
割合 (%)	89.1	1.7	9.2	100.0

※無回答：1

A5. 【場所】貴施設がサービスや教育を提供している主な場所はどこですか。(都道府県名・1つのみ)

都道府県名	度数	割合 (%)	都道府県名	度数	割合 (%)
北海道	3	2.5	愛知県	7	5.8
青森県	1	0.8	三重県	1	0.8
岩手県	2	1.7	京都府	5	4.2
宮城県	2	1.7	大阪府	11	9.2
秋田県	1	0.8	兵庫県	8	6.7
山形県	2	1.7	岡山県	2	1.7
福島県	2	1.7	奈良県	1	0.8
茨城県	1	0.8	広島県	6	5.0
埼玉県	5	4.2	香川県	1	0.8
千葉県	6	5.0	愛媛県	1	0.8
東京都	16	13.3	福岡県	6	5.0
神奈川県	11	9.2	佐賀県	1	0.8
新潟県	2	1.7	熊本県	1	0.8
富山県	2	1.7	宮崎県	1	0.8
石川県	2	1.7	鹿児島県	1	0.8
長野県	4	3.3	沖縄県	1	0.8
岐阜県	1	0.8	全国	1	0.8
静岡県	2	1.7	合計	120	100

A6. 【開始年】現在行っているサービスや教育の提供を開始した年はいつですか。

年 (西暦)	度数	割合 (%)	年 (西暦)	度数	割合 (%)	年 (西暦)	度数	割合 (%)
1933	1	0.9	1993	1	0.9	2006	3	2.8
1960	1	0.9	1994	2	1.8	2007	3	2.8
1975	1	0.9	1996	1	0.9	2008	6	5.5
1981	1	0.9	1997	4	3.7	2009	2	1.8
1983	1	0.9	1998	2	1.8	2010	6	5.5
1985	1	0.9	1999	3	2.8	2011	1	0.9
1986	1	0.9	2000	5	4.6	2012	2	1.8
1987	1	0.9	2001	15	13.8	2013	4	3.7
1988	1	0.9	2002	3	2.8	2014	3	2.8
1989	4	3.7	2003	6	5.5	2015	4	3.7
1990	3	2.8	2004	6	5.5	2016	6	5.5
1992	2	1.8	2005	2	1.8	2017	1	0.9
※無回答：11						合計	109	100.0

A7. 【入会金】貴施設に生徒が通う場合の入会金について、あてはまるもの1つに○をつけてください。(注) 入会金とは、ここでは「生徒が入学時に一度だけ支払うもの」と定義します。(SA)

	1. 入会金はない	2. ~5,000円未満	3. 5,000円~1万円未満	4. 1万円~3万円未満	5. 3万円~5万円未満	6. 5万円~10万円未満	7. 10万円以上	合計
度数	22	5	6	37	28	8	11	117
割合 (%)	18.8	4.3	5.1	31.6	23.9	6.8	9.4	100.0

※無回答：3

A8. 【月額会費】貴施設の月額会費（月謝）について、生徒一人あたりの平均的な金額を1つご回答ください。(SA)

	1. 月謝・会費等はない(無料)	2. ~5,000円未満	3. 5,000円~1万円未満	4. 1万円~3万円未満	5. 3万円~5万円未満	6. 5万円~10万円未満	7. 10万円以上	合計
度数	5	2	6	44	48	7	4	116
割合 (%)	4.3	1.7	5.2	37.9	41.4	6.0	3.4	100.0

※無回答：4

A9. 【減免制度の有無】家庭の経済的事由による会費等の減免制度はありますか。(SA)

	1. はい	2. いいえ	合計
度数	45	71	116
割合 (%)	38.8	61.2	100.0

※無回答：4

A10. 【経済的理由の退会者有無】過去5年以内に、経済的な理由で退会した子ども・若者はいましたか。(SA)

	1. はい	2. いいえ	合計
度数	42	73	115
割合 (%)	36.5	63.5	100.0

※無回答：5

A11. 【財政上の支援】 これまでに、(特定の事業に対する支援ではなく) 団体運営に関して外部から何らかの財政上の支援はありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(MA)

	度数	%
1.財団法人による支援	10	8.8
2.民間企業による支援	18	15.8
3.行政による支援	21	18.4
4.個人による支援	46	40.4
5.業界団体、協会等からの支援	4	3.5
6.その他からの支援	12	10.5
7.財政上の支援なし	53	46.5

※無回答：6

A12. 【財政規模】 貴施設の1年間の財政規模(昨年度実績・概算)について、あてはまるものの1つに○をつけてください。(SA)

	1. ~50万円未満	2. 50万円~100万円未満	3. 100万円~250万円未満	4. 250万円~500万円未満	5. 500万円~1,000万円未満	6. 1,000万円~2,000万円未満	7. 2,000万円以上	8. わからない	合計
度数	8	6	14	10	16	15	20	24	113
割合(%)	7.1	5.3	12.4	8.8	14.2	13.3	17.7	21.2	100.0

※無回答：7

B. 対象者・活動状況について

B1. 【対象者の年齢】 貴施設の活動が対象としている子ども・若者の年齢は何歳ですか。1と2のどちらかに○をつけてください。2の場合は、具体的な年齢または下限・上限が無いかどうかもお答えください。(SA)

	1. 下限・上限とも年齢制限はない	2. 下限・上限の年齢制限がある	合計
度数	21	98	119
割合(%)	17.6	82.4	100.0

※無回答：1

※以下の下限年齢、上限年齢の設問は、「2. 下限・上限の年齢制限がある」と回答した 98 施設・団体のみが回答した。

下限年齢		
年齢	度数	割合 (%)
4	1	1.2
5	5	6.0
6	26	31.3
7	9	10.8
10	14	16.9
11	5	6.0
12	8	9.6
13	3	3.6
14	1	1.2
15	5	6.0
16	1	1.2
下限は設けていない	5	6.0
合計	83	100.0

※無回答：15

上限年齢		
年齢	度数	割合 (%)
10	1	1.1
15	22	23.2
16	1	1.1
18	10	10.5
19	1	1.1
20	12	12.6
22	1	1.1
23	2	2.1
25	5	5.3
30	2	2.1
33	1	1.1
35	1	1.1
39	1	1.1
40	2	2.1
45	1	1.1
上限は設けていない	32	33.7
合計	95	100.0

※無回答：3

B2. 【対象者の年代別男女別人数】現在所属（登録）している子ども・若者について、2018年3月1日時点での人数をお答えください。また、ふだん1日（あるいは開室1回）あたり、平均して何人程度の子ども・若者が利用していますか。

◆所属（登録）人数

	回答人数	男性		女性	
		度数	割合 (%)	度数	割合 (%)
未 学 校 入 学	0	41	87.2	42	93.3
	1	4	8.5	1	2.2
	2	-	-	1	2.2
	3	1	2.1	-	-
	8	-	-	1	2.2
	25	1	2.1	-	-
合計		47	100.0	45	100.0

※男性人数無回答：73

※女性人数無回答：75

	回答人数	男性		女性	
		度数	割合 (%)	度数	割合 (%)
小学生	0	16	21.3	17	24.6
	1	17	22.7	21	30.4
	2	17	22.7	11	15.9
	3	6	8.0	6	8.7
	4	4	5.3	1	1.4
	5	4	5.3	5	7.2
	6	3	4.0	4	5.8
	7	-	-	1	1.4
	8	1	1.3	-	-
	9	3	4.0	-	-
	10	1	1.3	1	1.4
	12	1	1.3	1	1.4
	21	1	1.3	-	-
	23	-	-	1	1.4
45	1	1.3	-	-	
合計		75	100.0	69	100.0

※男性人数無回答：45

※女性人数無回答：51

	回答人数	男性		女性	
		度数	割合 (%)	度数	割合 (%)
中学生	0	5	5.4	7	8.3
	1	14	15.2	17	20.2
	2	9	9.8	13	15.5
	3	15	16.3	14	16.7
	4	10	10.9	7	8.3
	5	11	12.0	6	7.1
	6	3	3.3	5	6.0
	7	3	3.3	2	2.4
	8	4	4.3	3	3.6
	9	1	1.1	-	-
	10	3	3.3	2	2.4
	11	1	1.1	1	1.2
	12	3	3.3	-	-
	13	1	1.1	-	-
	14	-	-	2	2.4
	15	3	3.3	1	1.2
	16	-	-	1	1.2
	17	1	1.1	-	-
	18	1	1.1	1	1.2
	20	1	1.1	-	-
21	1	1.1	1	1.2	
23	1	1.1	-	-	
25	-	-	1	1.2	
30	1	1.1	-	-	
合計		92	100.0	84	100.0

※男性人数無回答：28

※女性人数無回答：36

	回答人数	男性		女性	
		度数	割合 (%)	度数	割合 (%)
中学卒業以上 (15歳以上)	0	15	17.6	18	22.0
	1	7	8.2	10	12.2
	2	10	11.8	16	19.5
	3	8	9.4	6	7.3
	4	7	8.2	4	4.9
	5	5	5.9	6	7.3
	6	5	5.9	5	6.1
	7	4	4.7	2	2.4
	8	3	3.5	1	1.2
	9	1	1.2	1	1.2
	10	4	4.7	2	2.4
	12	1	1.2	1	1.2
	13	1	1.2	1	1.2
	14	1	1.2	1	1.2
	15	3	3.5	2	2.4
	16	-	-	1	1.2
	19	1	1.2	-	-
	20	1	1.2	1	1.2
	23	1	1.2	-	-
	30	1	1.2	-	-
33	1	1.2	-	-	
40	-	-	2	2.4	
50	2	2.4	1	1.2	
60	1	1.2	1	1.2	
79	1	1.2	-	-	
140	1	1.2	-	-	
合計		85	100.0	82	100.0

※男性人数無回答：35

※女性人数無回答：38

	回答人数	男性		女性	
		度数	割合 (%)	度数	割合 (%)
中学卒業以上 (20歳以上)	0	21	32.8	28	46.7
	1	16	25.0	15	25.0
	2	4	6.3	9	15.0
	3	5	7.8	4	6.7
	4	3	4.7	1	1.7
	5	3	4.7	1	1.7
	6	1	1.6	-	-
	7	2	3.1	1	1.7
	8	1	1.6	1	1.7
	9	1	1.6	-	-
	10	3	4.7	-	-
	12	1	1.6	-	-
	17	1	1.6	-	-
	21	1	1.6	-	-
23	1	1.6	-	-	
合計		64	100.0	60	100.0

※男性人数無回答：56

※女性人数無回答：60

◆1日平均来室人数（概算）

	回答人数	男性		女性	
		度数	割合 (%)	度数	割合 (%)
小学校入学未満	0	36	87.8	37	92.5
	0.1	1	2.4	-	-
	0.2	1	2.4	-	-
	1	1	2.4	1	2.5
	2	-	-	1	2.5
	3	1	2.4	-	-
	6	-	-	1	2.5
	19	1	2.4	-	-
合計		41	100.0	40	100.0

※男性人数無回答：79

※女性人数無回答：80

	回答人数	男性		女性	
		度数	割合 (%)	度数	割合 (%)
小学生	0	19	29.7	20	31.3
	0.1	-	-	1	1.6
	0.2	1	1.6	-	-
	0.3	1	1.6	-	-
	1	19	29.7	22	34.4
	2	12	18.8	14	21.9
	3	4	6.3	4	6.3
	4	4	6.3	-	-
	5	1	1.6	2	3.1
	6	1	1.6	1	1.6
	10	1	1.6	-	-
	45	1	1.6	-	-
合計		64	100.0	64	100.0

※男性人数無回答：56

※女性人数無回答：56

	回答人数	男性		女性	
		度数	割合 (%)	度数	割合 (%)
中学生	0	4	4.9	9	11.8
	0.3	-	-	1	1.3
	0.4	1	1.2	-	-
	0.5	2	2.4	1	1.3
	1	19	23.2	22	28.9
	2	18	22.0	16	21.1
	3	11	13.4	9	11.8
	4	3	3.7	5	6.6
	5	9	11.0	3	3.9
	6	3	3.7	1	1.3
	7	4	4.9	3	3.9
	8	3	3.7	2	2.6
	9	-	-	1	1.3
	10	2	2.4	-	-
	12	-	-	2	2.6
	13	-	-	1	1.3
	14	1	1.2	-	-
	15	1	1.2	-	-
	23	1	1.2	-	-
合計		82	100.0	76	100.0

※男性人数無回答：38

※女性人数無回答：44

	回答人数	男性		女性	
		度数	割合 (%)	度数	割合 (%)
中学卒業以上 (15～19歳)	0	13	17.8	18	26.1
	0.1	1	1.4	-	-
	0.5	1	1.4	1	1.4
	0.7	-	-	1	1.4
	1	10	13.7	20	29.0
	1.3	1	1.4	-	-
	2	13	17.8	10	14.5
	3	12	16.4	4	5.8
	4	1	1.4	3	4.3
	5	6	8.2	2	2.9
	6	2	2.7	3	4.3
	7	2	2.7	-	-
	8	1	1.4	2	2.9
	10	2	2.7	2	2.9
	11	1	1.4	-	-
	13	-	-	1	1.4
	14	1	1.4	-	-
	15	3	4.1	1	1.4
	18	1	1.4	-	-
24	-	-	1	1.4	
35	1	1.4	-	-	
47	1	1.4	-	-	
合計		73	100.0	69	100.0

※男性人数無回答：47

※女性人数無回答：51

	回答人数	男性		女性	
		度数	割合 (%)	度数	割合 (%)
中学卒業以上 (20歳以上)	0	21	39.6	25	49.0
	0.2	1	1.9	2	3.9
	0.5	3	5.7	2	3.9
	1	12	22.6	13	25.5
	2	2	3.8	6	11.8
	3	3	5.7	1	2.0
	4	2	3.8	-	-
	5	1	1.9	-	-
	6	-	-	1	2.0
	7	2	3.8	1	2.0
	8	1	1.9	-	-
	9	1	1.9	-	-
	10	1	1.9	-	-
	11	1	1.9	-	-
	15	1	1.9	-	-
	17	1	1.9	-	-
	合計		53	100.0	51

※男性人数無回答：67

※女性人数無回答：69

B2-1. 【制服の有無】「中学卒業以上で15～19歳」の子ども・若者が所属・利用している施設・団体にお尋ねします。日常的に通ってくる中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者の服装で、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。(SA)

	1. 生徒はほぼ全員、制服を着用している	2. 制服を着用する生徒が一定数いる	3. 制服を着用する生徒はほぼいない	合計
度数	3	10	65	78
割合 (%)	3.8	12.8	83.3	100.0

B3. 【年間利用者数】 1年間の平均利用者数（のべ人数を過去2～3年間の平均的な数値でお答えください）。

回答人数	度数	割合 (%)	回答人数	度数	割合 (%)	回答人数	度数	割合 (%)	回答人数	度数	割合 (%)
1	2	2.0	23	1	1.0	223	1	1.0	2000	3	3.0
2	1	1.0	30	5	5.1	250	1	1.0	2160	1	1.0
3	2	2.0	35	3	3.0	283	1	1.0	2400	1	1.0
4	1	1.0	40	5	5.1	530	1	1.0	2700	2	2.0
5	2	2.0	50	1	1.0	700	1	1.0	3000	1	1.0
7	3	3.0	60	2	2.0	720	2	2.0	4000	1	1.0
8	2	2.0	70	2	2.0	850	2	2.0	4300	1	1.0
10	6	6.1	80	1	1.0	1100	1	1.0	4800	1	1.0
11	1	1.0	82	1	1.0	1200	3	3.0	6600	1	1.0
12	2	2.0	90	1	1.0	1250	1	1.0	9700	1	1.0
15	6	6.1	100	2	2.0	1267	1	1.0	15000	1	1.0
16	1	1.0	120	1	1.0	1350	1	1.0	合計	99	100
17	1	1.0	130	1	1.0	1500	2	2.0			
18	1	1.0	150	1	1.0	1600	2	2.0			
20	5	5.1	180	1	1.0	1800	1	1.0			

※無回答：21

※以下の B4～B9は、上記 B2で「中学卒業以上（15～19歳）」の生徒が所属・利用していると回答した78施設・団体のみが回答した。

B4. 【週あたり開室日数】 中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者の活動を目的とした開室は、1週間あたり平均して何日間ありますか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。（注）保護者やスタッフのための時間（保護者会、スタッフミーティング等）は除きます。（SA）

	0.1日未満	1.1日程度	2.2日程度	3.3日程度	4.4日程度	5.5日程度	6.6日程度	7.7日程度 (ほぼ毎)	合計
度数	0	2	4	10	10	37	6	8	77
割合 (%)	0.0	2.6	5.2	13.0	13.0	48.1	7.8	10.4	100.0

※無回答：1

B5. 【活動日】 中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者が活動する日について、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。（SA）

	1. 基本的に平日（月～金）のみ活動する	2. 平日中心で、たまに土日にも活動する	3. 土日中心で、たまに平日にも活動する	4. 基本的に土日のみ活動する	合計
度数	34	42	1	0	77
割合 (%)	44.2	54.5	1.3	0.0	100.0

※無回答：1

B6. 【通所・帰宅時間】 中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者が通ってくる時間、帰る時間は決まっていますか。どちらか1つに○をつけてください。(SA)

	1. 通所・帰宅時間はほぼ規定されている（ほぼ決まっている）	2. 開室時間内であればいつでも通所・帰宅してよい	合計
度数	34	43	77
割合 (%)	44.2	55.8	100.0

※無回答：1

B7. 【通学手段】 貴施設に通う中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者の主な通学手段は何ですか。あてはまるものを2つまで○をつけてください。(MA)

通学手段	度数	%
1. 電車・バス等の公共交通機関	67	87.0
2. 自転車	38	49.4
3. バイク	-	-
4. 徒歩	9	11.7
5. 家の人に送ってもらう（車など）	30	39.0
6. 施設の送迎車を（最寄駅等から）利用する	1	1.3
7. その他	3	3.9

※無回答：1

B8. 【通学時間】 貴施設に通う中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者の片道の通学時間は、平均的にどのくらいの人が多いですか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。(SA)

	1. 30分未満	2. 30分～1時間未満	3. 1時間～2時間未満	4. 2時間以上	合計
度数	15	51	8	1	75
割合 (%)	20.0	68.0	10.7	1.3	100.0

※無回答：3

B9. 【平均在籍期間】この1年間に退会した中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者の在籍期間（貴施設の利用期間）は、平均するとどのくらいですか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。（SA）

	1. 6ヶ月未満	2. 6ヶ月以上～ 1年未満	3. 1年以上～ 2年未満	4. 2年以上～ 3年未満	5. 3年以上～ 5年未満	6. 5年以上	合計
度数	8	8	15	24	14	4	73
割合（%）	11.0	11.0	20.5	32.9	19.2	5.5	100.0

※無回答：5

※以下B10からC4の設問は、全120施設・団体が回答した。

B10. 【障がい者受け入れ状況】障がいを持っているとされている子ども・若者を受け入れていますか。（SA）

	1. はい	2. いいえ	合計
度数	97	18	115
割合（%）	84.3	15.7	100.0

※無回答：5

※以下B10-1、B10-2は、設問B10で「1. はい」と回答した97施設・団体のみが回答した。

B10-1. 【障がい名・診断名】障がいを持っているとされる子ども・若者を受け入れている貴施設において、通っている子ども・若者の障がい名や診断名について、あてはまるもの全てに○をつけてください。（MA）

障がい名・診断名	度数	%
1. アスペルガー症候群	78	81.3
2. 自閉スペクトラム障害（ASD）（アスペルガー症候群を除く）	76	79.2
3. 学習障害（LD）	82	85.4
4. 注意欠陥・多動性障害（ADHD）	84	87.5
5. その他の発達障害	50	52.1
6. 知的障害	29	30.2
7. 精神障害	38	39.6
8. 言語障害	8	8.3
9. 視覚障害	4	4.2
10. 聴覚障害	6	6.3
11. 脳性まひ	2	2.1
12. 身体障害	10	10.4
13. 性同一性障害	10	10.4
14. 難病	9	9.4
15. その他	10	10.4

※無回答:1

B10-2. 【障がい者受入数】障がいを持っているとされている子ども・若者を、貴施設では現在およそ何名受け入れていますか。

人数	度数	割合 (%)	人数	度数	割合 (%)
1	7	8.6	13	2	2.5
2	7	8.6	15	1	1.2
3	14	17.3	17	1	1.2
4	10	12.3	20	6	7.4
5	11	13.6	25	2	2.5
6	3	3.7	30	1	1.2
7	4	4.9	60	1	1.2
8	2	2.5	107	1	1.2
9	1	1.2	120	1	1.2
10	6	7.4	合計	81	100.0

※無回答:16

C. 具体的な活動内容と指導について

C1. 【活動内容】貴施設では以下の活動・行事・プログラムを行っていますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。(MA)

活動内容	度数	%
1. 個別の学習	109	91.6
2. 集団型の授業形式（講義形式）による学習	60	50.4
3. 社会体験（見学、職場体験など）	90	75.6
4. 自然体験（自然観察、農業体験など）	82	68.9
5. 調理体験（昼食づくりなど）	91	76.5
6. 芸術活動（音楽、美術、工芸など）	89	74.8
7. スポーツ体験	94	79.0
8. 宿泊体験	64	53.8
9. 子ども・若者たちによるミーティング	64	53.8
10. 学業成果、演奏や作品などの発表会	50	42.0
11. 相談・カウンセリング（進路指導含む）	105	88.2
12. 家庭訪問	59	49.6
13. 入学式	35	29.4
14. 卒業式	66	55.5
15. 長期休暇（生徒が施設に通わない期間が3週間程度以上に及ぶ休暇。夏休み・春休みなど）	45	37.8
16. その他	17	14.3

※無回答：1

C2. 【主な活動場所】貴施設の主な活動場所について、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。(SA)

	1. 固定した常設スペースを持っている	2. 固定した常設スペースを持っているが、別の場所で活動することが多い	3. 固定した場所は持っていない	合計
度数	115	4	0	119
割合 (%)	96.6	3.4	0.0	100.0

※無回答：1

C3. 【活動場所の占有状況】 貴施設がふだん活動している場所・空間について、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。(SA)

	1. 活動場所・空間を施設が (ほぼ) 占有している	2. 活動場所・空間を他団体 と共有している	合計
度数	97	21	118
割合 (%)	82.2	17.8	100.0

※無回答：2

C4. 【教科指導の方法】 中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者の学習についてお尋ねします。学習はどのように進めていますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。その年代の生徒がいない場合は8に○をつけてください。(MA)

(注) 高認・・・ 高等学校卒業程度認定試験 (旧 大学入学資格検定)

	度数	%
1. 教科学習の補習を主とする	45	42.9
2. 上級学校受験をサポートする	38	36.2
3. 高認受験をサポートする	42	40.0
4. 通信制高校の勉強をサポートする	60	57.1
5. 独自の学習プログラムやカリキュラムがある	24	22.9
6. その他の方法で学習を進めている	15	14.3
7. 特に学習のサポートは行っていない	4	3.8
8. 中学卒業以上（15～19歳）の生徒はいない	28	26.7

※無回答：15

※以下の C5～C11 は、上記B2で「中学卒業以上（15～19歳）」の生徒が所属・利用していると回答した78施設・団体のみが回答した。

C5. 【生活指導の取組状況】中学卒業以上（15～19歳）の生徒に対する、事件や事故の防止、予防等の観点から、以下の生活指導の取組み・啓発を実施していますか。実施している項目をすべて選んで○をつけてください。また、実際の生徒への対応で困難を感じている事項があれば、選択肢の下の回答欄に3つまで回答してください。特にない場合は15と回答してください。（MA）

	度数	%
1. 薬物乱用防止に関する事	18	24.0
2. 飲酒・喫煙問題に関する事	22	29.3
3. 生徒間のいじめに関する事	29	38.7
4. メンタルヘルスに関する事	41	54.7
5. 健康管理に関する事	42	56.0
6. 通学上の安全に関する事	32	42.7
7. 暴力行為に関する事	20	26.7
8. マナー・モラルに関する事	45	60.0
9. SNS等の利用に関する事	40	53.3
10. 悪徳商法や消費者問題に関する事	12	16.0
11. 経済観念に関する事	25	33.3
12. カルトに関する事	4	5.3
13. DVやハラスメント防止に関する事	12	16.0
14. その他	8	10.7
15. 特にない	14	18.7

※無回答：3

◆実際の生徒対応で困難を感じている事項
(3つまで)

	度数	%
1. 薬物乱用防止に関する事	1	2.6
2. 飲酒・喫煙問題に関する事	1	2.6
3. 生徒間のいじめに関する事	6	15.8
4. メンタルヘルスに関する事	9	23.7
5. 健康管理に関する事	7	18.4
6. 通学上の安全に関する事	1	2.6
7. 暴力行為に関する事	2	5.3
8. マナー・モラルに関する事	11	28.9
9. SNS等の利用に関する事	18	47.4
10. 悪徳商法や消費者問題に関する事	-	-
11. 経済観念に関する事	4	10.5
12. カルトに関する事	-	-
13. DVやハラスメント防止に関する事	1	2.6
14. その他	4	10.5
15. 特にない	8	21.1

※無回答：40

C6. 【出席状況悪化の目安】中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者について、貴施設への出席状況が悪化したと判断された場合、貴施設として何らかの判断基準や目安がありますか。どちらかに○をつけて下さい。また具体的な基準があればご記入下さい（例：出席予定の日を3回以上無断で連続欠席する等）（SA）

	1. 判断基準はない	2. 判断基準がある	合計
度数	59	17	76
割合 (%)	77.6	22.4	100.0

※無回答：2

C7.【不登校の目安】出席状況が悪化し貴施設に登校できなくなった（不登校になった）中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者について、その判断基準や目安はありますか。どちらかに○をつけて下さい。また具体的な基準があればご記入下さい（例 出席予定だった日の欠席が連続して3か月程度続いた場合 等）（SA）

	1. 判断基準はない	2. 判断基準がある	合計
度数	62	10	72
割合（％）	86.1	13.9	100.0

※無回答：6

C8.【不登校の生徒への取組や働きかけ】中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者が貴施設に対して不登校状態となった場合、特別な働きかけや取り組みはありますか。該当する項目すべてに○をつけてください。なければ15に○をつけてください。（MA）

	度数	％
1.本人に連絡をとる	61	80.3
2.保護者に連絡をとる	64	84.2
3.子ども同士（クラスメイト）で連絡させる	20	26.3
4.家庭訪問を行う	29	38.2
5.本人に進路変更の意向を聞く	22	28.9
6.保護者と進路変更について相談する	25	32.9
7.退会について相談する	19	25.0
8.施設の休学制度の活用について相談する	14	18.4
9.保護者の了解を得た上で、医療機関・保健所等と連絡をとる	18	23.7
10.その他の外部機関と連絡をとる	15	19.7
11.スタッフ間で情報共有を行う	55	72.4
12.対応に関する勉強会をスタッフで実施している	23	30.3
13.スタッフ向けの対応マニュアルを整備している	6	7.9
14.その他	2	2.6
15.特別な働きかけや取り組みは行っていない	5	6.6

※無回答：2

C9.【生徒の課題への対応状況】中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者の抱える多様で複合的な課題に対して、貴施設では十分に対応できていると考えていますか。○を1つつけてください。（SA）

	1.十分に対応できている	2.ある程度対応できている	3.あまり対応できていない	4.全く対応できていない	合計
度数	16	53	8	0	77
割合（％）	20.8	68.8	10.4	0.0	100.0

※無回答：1

C10. 【規則違反への対応】 中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者が活動のルールに反したときの特別な対応はありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。なければ「8」に○をつけてください。（MA）

規則違反への対応内容	度数	%
1.当番などの罰則	4	5.3
2.訓戒・説教	22	29.3
3.反省文	10	13.3
4.子ども・若者たちのミーティングで議論	23	30.7
5.自宅謹慎	9	12.0
6.退会	14	18.7
7.その他	15	20.0
8.特別な対応は一切ない	16	21.3

※無回答：3

C11. 【退会後の進路】 中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者が貴施設を途中退会した場合、どのような道に進む場合が多いですか。主なものを3つまで○をつけてください。全くわからない場合は13に○をつけてください。（MA）

	度数	%
1.上級学校への進学・受験やその準備	43	58.1
2.元の学校へ戻る	21	28.4
3.他の（正規の）学校へ転・編入	22	29.7
4.他のフリースクールへ転校	8	10.8
5.就職（正社員）	10	13.5
6.就職（アルバイト・派遣等）	27	36.5
7.ボランティアの仕事に従事	6	8.1
8.得意な領域を極めるための活動・勉強に専念	9	12.2
9.海外留学	4	5.4
10.資格取得（学校通学を含む）	6	8.1
11.通学も就職もせず自宅にいる	25	33.8
12.その他	1	1.4
13.退会後の動向はスタッフには全くわからない	4	5.4

※無回答：4

※以下の D1～D5は、上記B2で「中学卒業以上（15～19歳）」の生徒が所属・利用している78施設・団体のみが回答した。

D. 保護者・卒業生の状況について

D1. 【保護者の悩み】貴施設に通っている中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者のことで、保護者が現在悩んでいるのはどんなことだと思われますか。主なものを3つまで○をつけてください。回答できない場合は15または16に1つ○をつけてください。（MA）

	度数	%
1.進学のこと	38	49.4
2.基礎学力のこと	24	31.2
3.将来就く仕事のこと	17	22.1
4.将来自立できるかどうか	56	72.7
5.施設での人間関係	4	5.2
6.施設での活動について	1	1.3
7.施設以外での友人関係や人間関係	3	3.9
8.家族との関係	15	19.5
9.我が子の社会性が身につくかどうか	25	32.5
10.我が子がひきこもりにならないかどうか	16	20.8
11.我が子が精神的に不安定にならないかどうか	19	24.7
12.我が子のその他の性格、行動、態度	13	16.9
13.元の学校のこと	-	-
14.家庭の経済的事情	6	7.8
15.回答できない（保護者は子どものことで悩んでいないため）	2	2.6
16.回答できない（保護者の考えはスタッフにはわからないため）	2	2.6

※無回答：1

D2. 【保護者が考える生徒の今後】 中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者の今後（1～2年以内の近い将来）について、保護者はどのように考えていますか。主なもの3つまで○をつけてください。回答できない場合は14に1つ○をつけてください。（MA）

	度数	%
1. 次の学期・学年からは元の学校に戻ってほしい	5	6.6
2. 元の学校にできるだけ早く戻ってほしい	7	9.2
3. フリースクールではなく、どこでもいいので正規の学校に通ってほしい	4	5.3
4. フリースクールに通って成長してほしい	28	36.8
5. 学校に行かなくても勉強だけはしてほしい	14	18.4
6. 進学をしてほしい	26	34.2
7. 将来のために資格をとってほしい	3	3.9
8. 早く就職してほしい	9	11.8
9. アルバイトなどをしてほしい	11	14.5
10. 経済的に自立してほしい	28	36.8
11. 我が子の好きなように自由に生きてほしい	18	23.7
12. 自分の好きなことを探してほしい	42	55.3
13. その他	3	3.9
14. 保護者の考えはスタッフにはわからない	1	1.3

※無回答：2

D3. 【卒業生への追跡調査等】 中学卒業以上（15～19歳）の生徒が卒業した後、進学先や就職先における適応状態等について、追跡調査等を行っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。（SA）

	1.定期的に実施している	2.ときどき実施している	3.実施していないが、今後実施してみたい	4.実施していないし、今後実施する予定はない	合計
度数	15	18	20	22	75
割合（%）	20.0	24.0	26.7	29.3	100.0

※無回答：3

D4. 【卒業生への支援状況】 中学卒業以上（15～19歳）の生徒が卒業・修了した後、卒業生に対する支援があればあてはまるものを全て選び○をつけてください。今まで支援した実績がなくても、卒業生が今後貴施設に戻ってきた時に受けられる予定の支援内容を回答しても構いません。（MA）

	度数	%
1. 修学上の相談（学習相談）を受け付けている	45	60.0
2. 進学に関する相談を受け付けている	56	74.7
3. 生活上の悩みや相談を受け付けている	60	80.0
4. 書類などで一般的な情報提供を行う	14	18.7
5. 推薦書などの特別な書類を作成する	17	22.7
6. ボランティアの仕事を紹介している	12	16.0
7. 有給の仕事（アルバイト等）を紹介する	26	34.7
8. 仕事上や職探しの悩みの相談を受け付けている	43	57.3
9. 外部の人と直接引き合わせる（情報提供だけでなく）	27	36.0
10. その他	4	5.3
11. 支援実績はないが、要望があれば適宜対応する	3	4.0
12. 支援実績はないし、今後に対応する予定はない	4	5.3

※無回答：3

D5. 【卒業生への社会の期待】 今後貴施設の卒業生を広く受け入れてゆく社会では、卒業生のどんな部分に期待しているとお考えですか。以下から主にあてはまるものを3つまで選び○をつけてください。（MA）

	度数	%
1. 良いマナーやモラルがあること	41	55.4
2. しっかりとした職業観・勤労観があること	12	16.2
3. その業界や企業をよく理解していること	3	4.1
4. 適切な自己理解がなされていること	36	48.6
5. 何事にも意欲的であること	25	33.8
6. 仕事への取組姿勢がよいこと	20	27.0
7. コミュニケーションの基本スキルがあること	48	64.9
8. 勉強・学習への取組姿勢がよいこと	5	6.8
9. 課外活動への取組姿勢がよいこと	-	-
10. 資格取得への取組姿勢がよいこと	1	1.4
11. 基礎的な学力があること	15	20.3
12. その他	2	2.7
13. 特にない	4	5.4

※無回答：4

※以下 E1 から F3 の設問は、全 120 施設・団体が回答した。

E. 貴施設・団体を支えるスタッフについて

E1. 【スタッフの人数】 貴施設の活動に関わるスタッフの人数についてお答えください。拠点が複数個所に分かれている場合、当調査票が送付された現拠点で働いているスタッフの人数をお答えください。

人数	①常勤・有給		②常勤・無給	
	度数	割合 (%)	度数	割合 (%)
0	4	3.7	33	63.5
1	24	22.4	8	15.4
2	27	25.2	6	11.5
3	17	15.9	2	3.8
4	11	10.3	-	-
5	7	6.5	-	-
6	3	2.8	1	1.9
7	2	1.9	-	-
8	1	0.9	-	-
10	4	3.7	2	3.8
11	1	0.9	-	-
13	2	1.9	-	-
14	1	0.9	-	-
18	1	0.9	-	-
30	1	0.9	-	-
40	1	0.9	-	-
合計	107	100.0	52	100.0

※無回答：①13、②68

人数	③非常勤・有給（講師、アルバイト含）		④非常勤・無給（講師、アルバイト含）	
	度数	割合 (%)	度数	割合 (%)
0	11	13.8	13	18.8
1	9	11.3	11	15.9
2	12	15.0	8	11.6
3	14	17.5	4	5.8
4	6	7.5	5	7.2
5	3	3.8	10	14.5
6	4	5.0	-	-
7	5	6.3	-	-
8	-	-	1	1.4
9	3	3.75	-	-
10	2	2.5	10	14.5
11	1	1.25	1	1.4
12	1	1.25	-	-
13	2	2.5	-	-
15	1	1.25	1	1.4
17	1	1.25	-	-
18	1	1.25	-	-
20	1	1.25	2	2.9
28	1	1.25	-	-
30	2	2.5	2	2.9
50	-	-	1	1.4
合計	80	100.0	69	100.0

※無回答：③40、④51

E1-1. 【有給常勤職の給与】常勤・有給スタッフのいる施設にお伺いします。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。(SA)

	1.有給のスタッフのほとんどは、施設からの給料を主たる収入としている	2.有給のスタッフの半数程度は、施設からの給料を主たる収入としている	3.有給のスタッフのほとんどは、施設の給料以外を主たる収入としている	合計
度数	76	11	17	104
割合 (%)	73.1	10.6	16.3	100.0

※無回答：16

E2. 【スタッフの職歴】貴施設のスタッフの方々の、貴施設に入職するまでの主な職歴や経歴について、わかる範囲で結構ですので、あてはまるもの全てに○をつけてください。(MA)

職歴	度数	%
1 人事課・人事部等の経験	10	8.5
2 営業・販売等の経験	32	27.1
3 事務の経験	38	32.2
4 その他一般企業での勤務経験	46	39.0
5 管理職（主任・課長級以上）の経験	20	16.9
6 役員の経験	12	10.2
7 公務員（正職員）	13	11.0
8 NPO・市民団体職員	16	13.6
9 他のフリースクールスタッフ	16	13.6
10 教員（小学校）※非常勤含む	27	22.9
11 教員（中学・高校）※非常勤含む	57	48.3
12 教員（大学・短大・専門学校）※非常勤含む	20	16.9
13 保育士・幼稚園教諭	23	19.5
14 臨床心理士、精神保健福祉士	24	20.3
15 社会福祉士	13	11.0
16 介護福祉士	4	3.4
17 各種カウンセラー（有資格者）	22	18.6
18 塾講師	49	41.5
19 その他	26	22.0
20 自営業	17	14.4
21 主な職歴がない（現職が初めての就職等）	29	24.6
22 主婦・主夫	13	11.0

※無回答：2

回答者自身について

E3. 【勤務年数】 貴施設でのあなたの勤務年数を教えてください。

年月	度数	%	年月	度数	%	年月	度数	%
2ヶ月	2	1.7	6年	3	2.5	14年8ヶ月	1	0.8
3ヶ月	1	0.8	6年1ヶ月	1	0.8	15年	5	4.2
1年	1	0.8	6年2ヶ月	2	1.7	15年2ヶ月	1	0.8
1年1ヶ月	2	1.7	6年3ヶ月	1	0.8	15年10ヶ月	1	0.8
1年2ヶ月	4	3.4	6年8ヶ月	1	0.8	16年	1	0.8
1年4ヶ月	1	0.8	7年	1	0.8	16年2ヶ月	1	0.8
1年5ヶ月	1	0.8	7年2ヶ月	1	0.8	16年7ヶ月	1	0.8
1年8ヶ月	1	0.8	8年	3	2.5	17年2ヶ月	1	0.8
2年	4	3.4	8年1ヶ月	1	0.8	18年	3	2.5
2年2ヶ月	4	3.4	9年	1	0.8	19年	1	0.8
2年3ヶ月	1	0.8	9年3ヶ月	1	0.8	19年1ヶ月	1	0.8
2年6ヶ月	2	1.7	9年11ヶ月	1	0.8	19年6ヶ月	1	0.8
3年1ヶ月	1	0.8	10年	11	9.3	20年	5	4.2
3年3ヶ月	1	0.8	10年1ヶ月	2	1.7	24年3ヶ月	1	0.8
3年4ヶ月	1	0.8	10年2ヶ月	3	2.5	28年4ヶ月	1	0.8
3年6ヶ月	1	0.8	11年	1	0.8	29年	1	0.8
3年10ヶ月	1	0.8	11年1ヶ月	1	0.8	29年11ヶ月	1	0.8
4年	2	1.7	11年2ヶ月	1	0.8	30年	1	0.8
4年1ヶ月	2	1.7	12年	4	3.4	30年7ヶ月	1	0.8
4年2ヶ月	1	0.8	12年1ヶ月	2	1.7	35年	1	0.8
5年	3	2.5	12年2ヶ月	1	0.8	37年	1	0.8
5年9ヶ月	1	0.8	14年	2	1.7	43年3ヶ月	1	0.8
5年10ヶ月	1	0.8	14年2ヶ月	2	1.7	合計	118	100.0

※無回答：2

E4. 【フリースクール通学経験】あなたご自身はフリースクール等に通ったり卒業した経験をお持ちですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(SA)

	1.当施設・当団体（関連校含む）に通っていた経験がある	2.他のフリースクールやフリースペース等に通った経験がある	3.フリースクールやフリースペース等に通った経験は全くない	合計
度数	3	4	112	119
割合（%）	2.5	3.4	94.1	100.0

※無回答：1

E5. 【フリースクール勤務経験】あなたご自身は以前に他のフリースクール等で働いた経験をお持ちですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(SA)

	1.はい（有給スタッフとして）	2.はい（無給で）	3.いいえ（当施設・当団体が初めて）	合計
度数	16	9	94	119
割合（%）	13.4	7.6	79.0	100.0

※無回答：1

E6.【主な職歴】あなたは、貴施設のスタッフになる前に、主にどのような職歴や経験をお持ちでしたか。該当するもの全てに○をつけてください。主な職歴がない場合は21か22のどちらかに○をしてください。(MA)

職歴	度数	%
1.人事課・人事部等の経験	7	5.9
2.営業・販売等の経験	25	21.0
3.事務の経験	16	13.4
4.その他一般企業での勤務経験	28	23.5
5.管理職（主任・課長級以上）の経験	15	12.6
6.役員の経験	10	8.4
7.公務員（正職員）	1	0.8
8.NPO・市民団体職員	10	8.4
9.他のフリースクールスタッフ	10	8.4
10.教員（小学校）※非常勤含む	8	6.7
11.教員（中学・高校）※非常勤含む	31	26.1
12.教員（大学・短大・専門学校）※非常勤含む	7	5.9
13.保育士・幼稚園教諭	7	5.9
14.臨床心理士、精神保健福祉士	3	2.5
15.社会福祉士	1	0.8
16.介護福祉士	1	0.8
17.各種カウンセラー（有資格者）	9	7.6
18.塾講師	27	22.7
19.その他	14	11.8
20.自営業	8	6.7
21.主な職歴はない（現職が初めての就職）	20	16.8
22.主な（長く勤務した）経験がない（主婦・主夫等）	-	-

※無回答：1

E7.【現在の仕事内容】あなたは現在スタッフとしてどのような仕事を担当していますか。
あてはまるもの全てに○をつけてください。(MA)

仕事内容	度数	%
1.見学时・入学時対応	103	87.3
2.授業や講座の講師	72	61.0
3.個別学習指導	81	68.6
4.生徒の日常生活や学習上の悩み相談	103	87.3
5.生徒の将来の悩みや卒業後の方向付け等の進路相談	97	82.2
6.カウンセリング	68	57.6
7.スポーツ・料理などの活動	71	60.2
8.行事・イベントの企画・引率	90	76.3
9.清掃や片付け、洗濯	67	56.8
10.一般事務・庶務	83	70.3
11.財務、経理	58	49.2
12.行政、学校、財団、企業などとの折衝や渉外	72	61.0
13.車で子ども・若者の送迎	29	24.6
14.広報・啓蒙活動	83	70.3
15.スタッフ向けの勉強会	41	34.7
16.保護者会への参加・運営	70	59.3
17.保護者との面談	103	87.3
18.家庭訪問	45	38.1
19.他団体との活動、交流	69	58.5
20.教材研究	55	46.6
21.その他	6	5.1

※無回答：2

E8.【呼称】あなたは子ども・若者から主にどのように呼ばれていますか。1つだけ○をつけてください。(SA)

	1.「先生」「○○(名 字)先生」	2.名字または下の名前 に「さん」をつけて	3.ニックネーム (「ちゃん」づけ、 呼び捨て含む)	4.名前では呼ばれてい ない(「ねえ…」、 「あの…」などと呼 びかけられる)	5.その他	合計
度数	60	36	15	1	6	118
割合(%)	50.8	30.5	12.7	0.8	5.1	100.0

※無回答：2

E9. 【利用者との関係】 スタッフとしてのあなたと、来室する子ども・若者との関係は次のどれにあたりますか。もっとも近いものに1つだけ○をつけてください。(SA)

	1.子ども・若者とスタッフで一緒に話し合い、両者で物事を決めている	2.子ども・若者が決定し、スタッフはそれに協力するやり方が基本となっている	3.スタッフがおおむね決定し、子ども・若者に指示するやり方が基本となっている	合計
度数	77	8	31	116
割合 (%)	66.4	6.9	26.7	100.0

※無回答：4

E10. 【悩み・困り事】 スタッフとして現在困っていることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(MA)

悩み・困り毎	度数	%
1.子ども・若者との関係について	3	2.6
2.対応が難しい子ども・若者について	35	30.2
3.子ども・若者の意欲的な参画がうまくいかない	11	9.5
4.スタッフとして何をしたらよいのかわからない	1	0.9
5.保護者への対応の仕方	15	12.9
6.上司・施設長との関係	3	2.6
7.スタッフ間の人間関係	8	6.9
8.スタッフ間で子ども観・教育観等に違いがあること	9	7.8
9.悩みを相談できる人がいない	3	2.6
10.将来が不安	13	11.2
11.やりがいを感じない	-	-
12.やることが多い	38	32.8
13.長時間労働	17	14.7
14.職場が遠い	4	3.4
15.必要な経費が出ない	17	14.7
16.待遇・給与	24	20.7
17.団体の財政	40	34.5
18.学校・地域・行政との関係について	26	22.4
19.その他	3	2.6
20.特にない	21	18.1

※無回答：4

E11. 【学校、入試、学歴等に関する考え方】以下に示す「考え方」に対して、あなたは個人的にどのように考えますか。下記の(a)～(o)について、①～④のうち最もあてはまるところに○をつけてください。(SA)

〈A〉 子ども・若者と学校との関係	①重視している		②やや重視している		③あまり重視していない		④重視していない		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
(a) 子ども・若者は学校復帰を目標にすべきだ	9	7.6	33	28.0	33	28.0	43	36.4	118	100.0
(b) 子ども・若者は学校に行けるのなら行くべきだ	12	10.3	46	39.7	31	26.7	27	23.3	116	100.0
(c) 学校へ行くか行かないかは子ども・若者の意思を尊重すべきだ	72	62.1	37	31.9	5	4.3	2	1.7	116	100.0
(d) 子ども・若者は基礎的な学力を身につけるべきだ	50	43.1	44	37.9	18	15.5	4	3.4	116	100.0
〈B〉 学歴および学校歴に対する考え方	①そう思う		②どちらかといえばそう思う		③どちらかといえばそう思わない		④そう思わない		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
(e) 現在の日本の社会は学歴社会だ	23	19.7	77	65.8	12	10.3	5	4.3	117	100.0
(f) 日本の社会は、学校歴(=どこの大学・短大を卒業したか)社会である	17	14.4	68	57.6	25	21.2	8	6.8	118	100.0
(g) 大学への進学率の高い学校が、すなわち「良い」学校である	4	3.4	7	6.0	49	41.9	57	48.7	117	100.0
(h) 偏差値の高い有名大学に進学することが、生徒の将来における職業生活、社会生活を有利に導く	4	3.4	22	18.6	44	37.3	48	40.7	118	100.0
〈C〉 大学・短大・専門学校の入試制度について	①賛成		②どちらかといえば賛成		③どちらかといえば反対		④反対		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
(i) 入学は易しく、卒業は難しいという入試方法・大学の制度	14	12.5	69	61.6	26	23.2	3	2.7	112	100.0
(j) 大学入試制度そのものの多様化	48	42.1	58	50.9	7	6.1	1	0.9	114	100.0
(k) 入学試験の際の面接の実施	35	30.4	69	60.0	9	7.8	2	1.7	115	100.0
(l) 入学試験の際の論述式試験(論文試験)の実施	24	21.1	71	62.3	18	15.8	1	0.9	114	100.0
(m) 推薦入学制度の拡充	25	21.9	71	62.3	16	14.0	2	1.8	114	100.0
(n) 試験科目数の削減	20	17.7	64	56.6	26	23.0	3	2.7	113	100.0
(o) 一芸に秀でた生徒を選抜するという入試方法の推進	28	24.3	65	56.5	21	18.3	1	0.9	115	100.0

※無回答：(a)2, (b)4, (c)4, (d)4, (e)3, (f)2, (g)3, (h)2, (i)8, (j)6, (k)5, (l)6, (m)6, (n)7, (o)5

F. 貴施設における個別相談全般について

F1. 【増えている相談内容】貴施設で、中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者やその保護者から受ける相談内容について、最近増えている（目につくと感じる）相談について、あてはまるものを2つまで○をつけてください。該当年代の生徒がいない場合や相談がない場合は18に○をつけてください。（MA）

増えている相談内容	度数	%
1. 対人関係（家族）	16	14.3
2. 対人関係（同年代の友人等）	22	19.6
3. 対人関係（異性）、恋愛	3	2.7
4. 精神障害（うつ、不安障害、統合失調症等）	15	13.4
5. 性格、考え方、態度（アイデンティティ、セルフコントロール等）	24	21.4
6. 基礎学力	12	10.7
7. 将来の進学等に必要学力	10	8.9
8. 進路（進学先・就職先について）	29	25.9
9. 家庭の経済的問題	8	7.1
10. 発達障害（自閉スペクトラム障害、ADHD、LD、アスペルガー症候群等）	33	29.5
11. 体型（肥満、やせ等）	1	0.9
12. 体力、体調	3	2.7
13. ハラスメント、人権侵害	-	-
14. 悪徳商法、法律相談	-	-
15. 知的障害	3	2.7
16. 身体障害	-	-
17. その他	2	1.8
18. 該当年代の生徒がいない・相談がない	38	33.9

※無回答：8

F2. 【相談に関する施設内での連携状況】子ども・若者や保護者から個別相談を受けた場合、相談内容について、貴施設ではどのように情報共有を図っていますか。あてはまるものを全て選んで○をつけてください。（MA）

相談に関する施設内での連携状況	度数	%
1. 貴施設内の定期的な連絡会議で情報共有を行う	65	56.5
2. 貴施設内で、必要に応じて連絡会議を開き、情報共有を行う	51	44.3
3. 貴施設内の本部へ定期的に連絡して情報共有を行う	23	20.0
4. 相談を担当したスタッフのみが把握し、特に情報共有は行わない	1	0.9
5. その他	10	8.7

※無回答：5

F3. 【相談に関する今後の課題】個別相談に関する今後の課題として、特に必要性が高いと

思われる事項すべてに○をつけてください。その中で、今後取り組みを充実させるためには、貴施設単独では実施困難と思われる事項があれば3つまで回答してください。(MA)

	度数	%
1.悩みを抱えていながら相談に乗ってこない生徒への対応	51	46.8
2.生徒への予防教育的活動	32	29.4
3.保護者への対応	56	51.4
4.複雑かつ多様な相談内容への対応	47	43.1
5.精神的危機の状況にある生徒への対応	49	45.0
6.相談対応可能なスタッフの増員	38	34.9
7.相談対応スタッフの専門性向上	46	42.2
8.相談対応スタッフの専任化	23	21.1
9.相談対応スタッフの待遇の改善	39	35.8
10.相談対応スタッフと他スタッフとの連携・協働	30	27.5
11.相談対応スタッフに対する研修	29	26.6
12.相談体制の環境整備	27	24.8
13.相談対応のためのマニュアル作成	25	22.9
14.施設外の専門機関（医療機関・各種相談機関との連携）	56	51.4
15.他団体での先進的取組等の情報収集	31	28.4
16.その他	1	0.9

※無回答：11

◆この中で、貴施設単独では実施困難と思われる事項（3つまで）

	度数	%
1.悩みを抱えていながら相談に乗ってこない生徒への対応	6	9.5
2.生徒への予防教育的活動	4	6.3
3.保護者への対応	6	9.5
4.複雑かつ多様な相談内容への対応	6	9.5
5.精神的危機の状況にある生徒への対応	15	23.8
6.相談対応可能なスタッフの増員	11	17.5
7.相談対応スタッフの専門性向上	10	15.9
8.相談対応スタッフの専任化	12	19.0
9.相談対応スタッフの待遇の改善	22	34.9
10.相談対応スタッフと他スタッフとの連携・協働	2	3.2
11.相談対応スタッフに対する研修	3	4.8
12.相談体制の環境整備	2	3.2
13.相談対応のためのマニュアル作成	9	14.3
14.施設外の専門機関（医療機関・各種相談機関との連携）	20	31.7
15.他団体での先進的取組等の情報収集	11	17.5
16.その他	1	1.6

※無回答：57

※以下のG1～G2、H1～H9、I1～I7、J1～J6は、上記B2で「中学卒業以上（15～19歳）」の生徒が所属・利用している78施設・団体のみが回答した。

G. 外部機関との連携について

G1. 【連携先】子ども・若者への支援（進路相談・指導、生活相談・指導など全般）において、以下のような外部機関等と連携していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。連携していない場合は15に○をつけていただき、G2にお進みください。(MA)

各種機関との連携について	度数	%
1. 卒業生・修了生個人	39	52.0
2. NPO・ボランティア団体	39	52.0
3. 他のフリースクール等の団体	38	50.7
4. 資格取得のための学校	16	21.3
5. 民間の就職支援企業、業者	24	32.0
6. 市区町村（自治体）	27	36.0
7. 公的な就職支援機関（ハローワーク、サポステ、ジョブカフェ等）	30	40.0
8. 地元の商工会議所・経営者協会等の経済団体	9	12.0
9. 医療機関	34	45.3
10. 発達障害者支援センター	23	30.7
11. 警察署	11	14.7
12. 弁護士	6	8.0
13. 消費者センター	-	-
14. その他	5	6.7
15. 連携は行っていない	9	12.0

※無回答：3

G1-1. 【連携の効果】G1で15以外に回答した場合にお尋ねします。外部機関等との連携による効果・成果について、全般的にどうお考えですか。あてはまるものに○を1つつけてください。(SA)

	1.効果・成果がよく出ている	2.効果・成果が少し出ている	3.効果・成果があまり出ていない	4.効果・成果が全く出ていない	5.効果・成果が出ているかどうか分からない	合計
度数	25	29	5	-	7	66
割合 (%)	37.9	43.9	7.6	-	10.6	100.0

※無回答：3

G1-2.【連携の効果（具体名）】G1で15以外に回答した場合にお尋ねします。連携の効果とは具体的にどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（MA）

	度数	%
1. 子ども・若者への良い刺激、指導	42	65.6
2. 貴施設のカリキュラムやプログラムの充実	22	34.4
3. 貴施設の人的負担の軽減	9	14.1
4. 貴施設の費用負担の軽減	3	4.7
5. スタッフの教育・研修	21	32.8
6. ノウハウの獲得や蓄積	24	37.5
7. 人的ネットワークの拡大	38	59.4
8. 情報収集や活用	41	64.1
9. その他	2	3.1

※無回答：2

G2.【今後の連携について】外部機関との今後の連携のあり方について、どのようにお考えですか。あてはまるものに○を1つつけてください。（SA）

	1.さらに連携を強めてゆきたい	2.現状程度で連携してゆきたい	3.一部の連携については見直す が、今後も連携は続けてゆきたい	4.連携を全般的に縮小・削減してゆきたい	5.今は連携していないが、今後は連携を考えたい	6.今も今後も連携は考えていない	7.その他	合計
度数	33	23	9	-	8	1	-	74
割合（%）	44.6	31.1	12.2	-	10.8	1.4	-	100.0

※無回答：4

H. 進路指導、進路相談について

H1. 【進路相談、情報提供や指導の実際】 中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者を対象とした進路相談、進路に関する情報提供や指導で、現在、貴施設で実施しているものがあればいくつでも○をつけてください。何も実施していない場合は18に○をつけてください。

(MA)

進路相談、情報提供や指導の実際	度数	%
1. 生徒に対する個別の進路希望調査	52	69.3
2. 進路に関する三者面談（スタッフ、生徒、保護者）	55	73.3
3. 進路に関する二者面談（スタッフ、生徒）	57	76.0
4. ハローワーク職員等による個別相談	13	17.3
5. 外部（企業、学校等）による説明会や情報提供	26	34.7
6. ハローワーク職員による説明会や情報提供	8	10.7
7. 卒業生による進学先・就職先の体験談や情報提供	23	30.7
8. 進路に関する資料コーナー等の設置	24	32.0
9. 職場（職業）体験学習	28	37.3
10. ボランティア体験学習	29	38.7
11. 保護者、卒業生による就職先のあっせん	8	10.7
12. 職業適性検査、職業興味検査、進路発達検査等の自己理解のための検査の実施	17	22.7
13. 大学等受験のための模擬試験（個別対応含む）	19	25.3
14. 就職のための模擬試験（公務員試験対策等。個別対応含む）	5	6.7
15. 大学等受験のための対策講座（面接指導、小論文の書き方など。個別対応含む）	39	52.0
16. 就職のための対策講座（面接指導、応募書類の書き方など。個別対応含む）	35	46.7
17. その他	4	5.3
18. 進路指導・相談・情報提供は一切行っていない	3	4.0

※無回答：3

H2. 【進路選択で目的意識を持たせる指導（貴施設）】 中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者に対して、進路選択（進学・就職）に目的意識を持たせるような指導は、貴施設全体でどの程度推進されていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(SA)

	1. 十分に 推進されている	2. ある程度は推 進されている	3. あまり推進さ れていない	4. 推進されてい ない	合計
度数	19	44	7	6	76
割合 (%)	25.0	57.9	9.2	7.9	100.0

※無回答：2

H3. 【進路選択で目的意識を持たせる指導（ご回答者）】 現在ご回答中のスタッフご自身は、

中学卒業以上（15～19歳）の生徒に対して進路選択（進学・就職）に目的意識を持たせるような指導ができていると考えていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(SA)

	1.十分に 指導できている	2.ある程度は指 導できている	3.あまり指導で きていない	4.指導できてい ない	合計
度数	13	42	13	6	74
割合 (%)	17.6	56.8	17.6	8.1	100.0

※無回答：4

H4.【生徒が進路決定で重視する意見】中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者が自らの進路を最終的に決定するとき、誰の意見を、どの程度考えて決めていると思いますか。各対象者で重視していると思われる程度について、それぞれ○を1つつけてください。(SA)

対象者	①重視 している		②やや重視 している		③あまり 重視してい ない		④重視して いない		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
(a) 本人の希望	70	92.1	6	7.9	-	-	-	-	76	100.0
(b) スタッフの意見	8	11.0	46	63.0	15	20.5	4	5.5	73	100.0
(c) 施設の施設長の意見	9	12.3	39	53.4	17	23.3	8	11.0	73	100.0
(d) 保護者の意見	29	38.7	38	50.7	6	8.0	2	2.7	75	100.0
(e) 他の予備校や塾の担当者の意見	2	2.9	26	37.7	19	27.5	22	31.9	69	100.0
(f) ハローワーク職員の意見	2	2.9	19	27.5	20	29.0	28	40.6	69	100.0
(g) 友人や先輩の意見	7	9.9	33	46.5	18	25.4	13	18.3	71	100.0

(h) その他	回答数：3
---------	-------

※無回答：(a)2, (b)5, (c)5, (d)3, (e)9, (f)9, (g)7

H5. 【生徒の課題や問題点への意見】 下記は、進路決定に関して一般的に生徒が持ちやすい課題や問題点を示したものです。現在ご回答中のスタッフご自身の考えについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。(SA)

進路決定に関する生徒の課題や問題点	①あてはまる		②ややあてはまる		③あまりあてはまらない		④あてはまらない		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
(a) 進路意識や意欲の低下（生徒自身が自分の進路について十分に調べたり、考えたりしていない）	11	14.7	35	46.7	22	29.3	7	9.3	75	100.0
(b) 学力や能力との乖離（学力、成績、能力などを考慮せずに、進路を決めている）	18	23.7	25	32.9	25	32.9	8	10.5	76	100.0
(c) 情報や条件の偏り（進路について十分調べていなかったり偏った情報に基づいて進路を選んでいる）	17	22.4	34	44.7	17	22.4	8	10.5	76	100.0
(d) 保護者からの影響（保護者の意見に従って決めており、進路を自分で決めていない）	19	25.0	25	32.9	27	35.5	5	6.6	76	100.0
(e) 合格可能性のみで決定（興味や性格と関係なく、合格できそうなところから進路を選んでいる）	6	7.9	18	23.7	32	42.1	20	26.3	76	100.0
(f) 生徒とスタッフのコミュニケーション不足（生徒とスタッフが進路に関して話をする時間が十分にとれていない）	3	3.9	6	7.9	40	52.6	27	35.5	76	100.0
(g) その他	回答数:0									

※無回答：(a)3, (b)2, (c)2, (d)2, (e)2, (f)2

H6. 【大学等選びの各観点の重視度】 大学や短大、専門学校等への進学を志望する生徒がいる場合、偏差値以外の観点として以下の項目についてどの程度重視しますか。(a)～(o)のそれぞれについて、①～④のうち最もあてはまるものを1つ選んでください。(SA)

偏差値以外の 大学選びの観点	①重視する		②やや重視する		③あまり重視 しない		④重視しない		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
(a) 生徒の希望に合った内容の学科やコースがあること	57	79.2	13	18.1	1	1.4	1	1.4	72	100.0
(b) 地元や在校生の評判が良いこと	8	11.3	38	53.5	23	32.4	2	2.8	71	100.0
(c) カウンセリング・相談体制が充実していること	12	16.7	35	48.6	21	29.2	4	5.6	72	100.0
(d) 学生の面倒見が良いこと	21	29.2	37	51.4	10	13.9	4	5.6	72	100.0
(e) 4年間で（あるいは標準年限で）卒業する学生が多いこと	3	4.2	16	22.5	42	59.2	10	14.1	71	100.0
(f) 中退者が少ないこと	2	2.8	27	38.0	33	46.5	9	12.7	71	100.0
(g) 卒業後の就職状況が良いこと	8	11.1	32	44.4	26	36.1	6	8.3	72	100.0
(h) 学費が安いこと	8	11.3	41	57.7	17	23.9	5	7.0	71	100.0
(i) 学術面でのレベルが高いこと	2	2.9	26	37.1	38	54.3	4	5.7	70	100.0
(j) ゼミが充実していること	4	5.6	24	33.8	36	50.7	7	9.9	71	100.0
(k) 優秀な教員がそろっていること	3	4.3	27	38.6	33	47.1	7	10.0	70	100.0
(l) サークル活動が盛んであること	2	2.8	23	31.9	40	55.6	7	9.7	72	100.0
(m) 入試制度が多様であること	14	19.4	37	51.4	16	22.2	5	6.9	72	100.0
(n) 図書館が充実していること	2	2.9	15	21.7	44	63.8	8	11.6	69	100.0
(o) 交通が便利であること	11	15.3	42	58.3	16	22.2	3	4.2	72	100.0

※無回答：(a)6, (b)7, (c)6, (d)6, (e)7, (f)7, (g)6, (h)7, (i)8, (j)7, (k)8, (l)6, (m)6, (n)9, (o)6

H7. 【進路指導の体制に関する課題】 貴施設の進路指導の体制に関して、ここ数年～現在に至るまで、どのようなことが主な課題となっていると思われますか。それぞれあてはまるものの1つに○をつけてください。(SA)

	①そう思う		②やや そう思う		③あまり そう思わ ない		④そう 思わない		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
(a)入試制度の多様化や変更にとま ない、施設での指導や対策が難しく なっていること	4	5.6	25	34.7	29	40.3	14	19.4	72	100.0
(b)スタッフの負担が多く、進路指導の 時間が十分にとれないこと	5	6.8	22	30.1	30	41.1	16	21.9	73	100.0
(c)施設としての進路指導の方針やピ ジョンが不明確で、スタッフ間で共 有されていないこと	1	1.4	9	12.5	36	50.0	26	36.1	72	100.0
(d)進学や就職の実績をあげなくてはな らないこと	1	1.4	13	18.1	24	33.3	34	47.2	72	100.0

※無回答：(a)6, (b)5, (c)6, (d)6

H8. 【今後の支援の方向性】 貴施設では、中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者の進路
選択に対する支援や指導を行う際に、今後どのような点を重視したいと思いますか。以下の
中から、あてはまるもの全てに○をつけてください。(MA)

	度数	%
1. スタッフによる積極的な指導を行いたい	30	40.5
2. 生徒の生活全般の支援を重視したい	39	52.7
3. ボランティアの職を多く紹介したい	4	5.4
4. 他校や他団体との交流機会を増やしたい	18	24.3
5. 保護者との連携を強化したい	38	51.4
6. アルバイトの職を多く紹介したい	14	18.9
7. スタッフのカウンセリング力を高めたい	33	44.6
8. 卒業生からの支援を仰ぎたい	19	25.7
9. 生徒の進路決定の様子を細かく把握したい	14	18.9
10. 就職支援について外部機関との連携を進めたい	23	31.1
11. 公共機関（ハローワーク等）と連携を進めたい	29	39.2
12. 民間企業を活用したい	20	27.0
13. その他	4	5.4
14. 特に何もするつもりはない	3	4.1

※無回答：4

I. 進路指導・相談における「適性」の把握について

I1. 【適性の概念】「適性」には、どのようなものが含まれると考えていますか。以下の10項目それぞれについて、下の4つの基準のうち、最も適当と思われるものを1つ選んでください。(SA)

適性の概念	①含まれる		②やや含まれる		③あまり含まれない		④全く含まれない		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
(a) 学力	27	36.5	38	51.4	8	10.8	1	1.4	74	100.0
(b) 得意教科科目	20	27.0	41	55.4	12	16.2	1	1.4	74	100.0
(c) 知能（潜在的可能性）	26	35.6	41	56.2	6	8.2	-	-	73	100.0
(d) 性格	38	51.4	32	43.2	4	5.4	-	-	74	100.0
(e) 興味（一般興味・関心）	45	60.8	26	35.1	3	4.1	-	-	74	100.0
(f) 職業興味	39	52.7	32	43.2	2	2.7	1	1.4	74	100.0
(g) 価値観	24	32.4	43	58.1	7	9.5	-	-	74	100.0
(h) 意欲	45	60.8	25	33.8	3	4.1	1	1.4	74	100.0
(i) 態度	36	48.6	33	44.6	4	5.4	1	1.4	74	100.0
(j) 体力	29	39.2	41	55.4	4	5.4	-	-	74	100.0

※無回答：(a)4, (b)4, (c)5, (d)4, (e)4, (f)4, (g)4, (h)4, (i)4, (j)4

I2. 【適性把握の方法】中学卒業以上（15～19歳）の子ども・若者の進路を考える上で、本人の適性（進路適性）を主にどのような方法で把握していますか。該当するものすべてに○をつけてください。(MA)

	度数	%
1. 生徒との面接	67	88.2
2. 調査（アンケート）	10	13.2
3. スタッフによる生徒の観察	55	72.4
4. 進路適性検査（性格検査、興味検査、能力検査など）やガイダンスツール	22	28.9
5. 特に把握するための方法をとっていない	5	6.6

※無回答：2

I3. 【進路選択における適性の必要性】中学卒業以上（15～19歳）の生徒の進路を考える上

で、その生徒の適性を重視することは必要だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(SA)

	1. おおいに必要である	2. ある程度必要である	3. あまり必要ではない	4. 必要ではない	合計
度数	31	41	3	1	76
割合 (%)	40.8	53.9	3.9	1.3	100.0

※無回答：2

I 4. 【自己理解の徹底】自分の適性をより良く生かすための自己理解の徹底に関して、どの程度子ども・若者に指導していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(SA)

	1. 十分に指導している	2. ある程度指導している	3. あまり指導していない	4. 全く指導していない	合計
度数	13	45	13	3	74
割合 (%)	17.6	60.8	17.6	4.1	100.0

※無回答：4

I 5. 【適性を生かした進路指導】貴施設では、「生徒の適性を生かす適切な進路指導（生徒の将来を考えさせる指導）」が実践されていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(SA)

	1. 実践されている	2. どちらかといえば実践されている	3. どちらかといえば実践されていない	4. 実践されていない	合計
度数	15	45	12	2	74
割合 (%)	20.3	60.8	16.2	2.7	100.0

※無回答：4

I 6. 【適性と乖離した志望をもつ生徒への対応】中学卒業以上（15～19歳）の生徒の志望とスタッフからみた生徒の適性が離れている場合、どのように指導しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(SA)

	1. 適性に沿った選択を行うよう強く説得する	2. 適性に沿った選択も考えるようアドバイスする	3. 本人の志望に沿った選択を認める	4. 特に指導しない	合計
度数	-	47	24	4	75
割合 (%)	-	62.7	32.0	5.3	100.0

※無回答：3

I7. 【適性を生かすことが難しい理由】一般に、生徒の適性を生かすことが難しい場合、貴施設として、その理由は何であるとお考えですか。下記の(a)～(d)それぞれについて、①～④のうち最もあてはまるものに○を1つつけてください。その他の理由があれば、(e)にご記入ください。(SA)

主な理由	①そう思う		②ややそう思う		③あまりそう思わない		④そう思わない		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
(a) 適性というよりも学力で進路が左右されるのが現実だから	10	13.9	37	51.4	20	27.8	5	6.9	72	100.0
(b) 時間的にも物理的にも生徒一人一人の適性を十分把握できないから	3	4.2	14	19.4	38	52.8	17	23.6	72	100.0
(c) 適性そのものが何であるか捉えにくいから	7	9.9	28	39.4	24	33.8	12	16.9	71	100.0
(d) 適性が見つめたとしても、適性に応じてどう指導すればよいかわからないから	1	1.5	23	33.8	28	41.2	16	23.5	68	100.0

(e) その他	回答数：3
---------	-------

※無回答：(a)6, (b)6, (c)7, (d)10

J. 適性検査・キャリアガイダンスツールの利用について

J1. 【適性検査・ツールの利用】貴施設・団体では、生徒に対する進路相談等のために、進路適性検査やガイダンスツールを利用していますか。以下のどちらかに○をつけてください。

(SA)

	1. 利用している	2. 利用していない	合計
度数	17	58	75
割合 (%)	22.7	77.3	100.0

※無回答：3

※以下 J2～J4 は、J1 で「1. 利用している」と回答した 17 施設・団体が回答した。

J2. 【利用中のツール】J1で、適性検査やガイダンスツールを「1. 利用している」と回答した場合のみ、ご回答ください。下記のうち、進路相談等のために利用している検査やガイダンスツールがあれば、いくつでも○をつけてください。(MA)

利用注のツール	度数	%
1. 知能検査 (WISC、WAISなど)	5	38.5
2. 性格検査 (YG性格検査など)	5	38.5
3. クレペリン作業検査	-	-
4. 厚生労働省編一般職業適性検査 (GATB)	2	15.4
5. 職業レディネス・テスト (労働政策研究・研修機構編)	4	30.8
6. 職業興味検査	4	30.8
7. 総合的な進路適性検査 (性格、興味、能力検査を含むもの)	3	23.1
8. カードタイプのツール	2	15.4
9. キャリア・インサイト	-	-
10. その他の検査・ツール	2	15.4

※無回答：4

J3. 【結果の活用度】適性検査やツールから得られた結果を、進路相談等で(A)どの程度利用していますか。また、総合的に見て、結果は、進路相談等において、(B)どの程度、役立てられていると思いますか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。(SA)

(A) 利用度		1. おおいに利用している	2. ある程度利用している	3. あまり利用していない	4. 全く利用していない	合計
	度数		2	9	3	1
割合 (%)		13.3	60.0	20.0	6.7	100.0

※無回答：2

(B) 役立ち度		1. 役立てられている	2. どちらかといえば役立てられている	3. どちらかといえば役立っていない	4. 役立てられていない	合計
	度数		2	8	5	-
割合 (%)		13.3	53.3	33.3	-	100.0

※無回答：2

J4. 【検査・ツールのメリット】適性検査やガイダンスツールを利用するメリットは何ですか。(A) 生徒本人にとって、(B) スタッフにとって、という2つの立場に分けてお答えください。各項目で、あてはまるもの1つに○をつけてください。(SA)

立場	どのような点で有効か	①あてはまる		②ややあてはまる		③あまりあてはまらない		④あてはまらない		合計	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
(A) 生徒本人にとっての有効性	(a)生徒が進路の適性や将来の進路に関する可能性を考えたり、興味を持てること	8	53.3	7	46.7	-	-	-	-	15	100.0
	(b)生徒が自己理解を深められること	4	26.7	9	60.0	2	13.3	-	-	15	100.0
	(c)生徒が自主的に進路設計や進路選択を行うための資料となること	6	40.0	7	46.7	2	13.3	-	-	15	100.0
	(d)生徒の進学や就職意識を高めること	3	20.0	8	53.3	4	26.7	-	-	15	100.0
	(e)学力の要因は適性の一部の要因であることを生徒が理解できること	-	-	8	53.3	7	46.7	-	-	15	100.0
(B) スタッフにとっての有効性	(a)生徒の進路適性の可能性や興味傾向が把握できること	6	40.0	9	60.0	-	-	-	-	15	100.0
	(b)生徒本人が気づいていない能力や資質を掘り起こすこと	4	26.7	9	60.0	2	13.3	-	-	15	100.0
	(c)生徒の進路設計への態度や価値観が把握できること	3	20.0	10	66.7	2	13.3	-	-	15	100.0
	(d)生徒の諸特性を客観的に捉えることができること	3	20.0	11	73.3	1	6.7	-	-	15	100.0
	(e)スタッフが漠然と考えていることが明確になること	2	13.3	9	60.0	4	26.7	-	-	15	100.0

※無回答：(A) (a)2, (b)2, (c)2, (d)2, (e)2, (B)(a)2, (b)2, (c)2, (d)2, (e)2

※以下のJ5、J6は、設問J1で「2. 利用していない」と回答した58施設・団体が回答した。

J5. 【利用しない理由】J1で適性検査やガイダンスツールを「2. 利用していない」と回答した場合のみ、ご回答ください。貴施設で適性検査・ツールを利用していない理由をお知らせください。以下の各項目について、①～④のうち、ご回答者のお考えに最も近いもの1つに○をつけて下さい。(SA)

利用していない理由	①あてはまる		②ややあてはまる		③あまりあてはまらない		④あてはまらない		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
(a)実施する時間がうまくとれないから	2	3.8	10	19.2	12	23.1	28	53.8	52	100.0
(b)実施しようとしても施設全体での理解が得られないから	-	-	8	15.4	13	25.0	31	59.6	52	100.0
(c)経費がかかるから	6	12.0	13	26.0	10	20.0	21	42.0	50	100.0
(d)スタッフの中で足並みをそろえるのが難しい（意見が分かれている）から	1	2.0	4	7.8	17	33.3	29	56.9	51	100.0
(e)解釈が難しいから	3	5.9	10	19.6	14	27.5	24	47.1	51	100.0
(f)どのような適性がどのような進路に向いているかわからないから	5	9.8	5	9.8	20	39.2	21	41.2	51	100.0
(g)適性検査の結果は一時的なもので参考にならないから	5	9.8	11	21.6	18	35.3	17	33.3	51	100.0
(h)生徒自身の進路の明確な決定につながらないから	8	15.7	14	27.5	14	27.5	15	29.4	51	100.0
(i)生徒は学力の要因に比べて適性の要因をあまり重視していないから	2	3.9	8	15.7	25	49.0	16	31.4	51	100.0
(j)生徒自身が適性検査の結果に関心を示さないから	3	5.9	9	17.6	19	37.3	20	39.2	51	100.0
(k)市販の適性検査はスタッフの観察等に比べて信頼できないから	3	5.9	7	13.7	22	43.1	19	37.3	51	100.0
(l)信頼できる適性検査がまだまだに開発されていないから	1	2.0	7	13.7	23	45.1	20	39.2	51	100.0
(m)就職希望者がいないので実施の必要がないから	10	20.0	10	20.0	11	22.0	19	38.0	50	100.0

※無回答：(a)6, (b)6, (c)8, (d)7, (e)7, (f)7, (g)7, (h)7, (i)7, (j)7, (k)7, (l)7, (m)8

J6.【検査・ツール導入の必要性】J1で適性検査やガイダンスツールを「2. 利用していない」と回答した場合のみ、ご回答ください。ご回答者は、進路指導で、適性検査やガイダンスツールを導入することの必要性をどの程度感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(SA)

	1. おおいに 感じている	2. ある程度 感じている	3. あまり感 じていない	4. 全く 感じている	合計
度数	1	19	25	10	55
割合 (%)	1.8	34.5	45.5	18.2	100.0

※無回答：3